

HEXA GEAR Random Assembly Manual Alerts Construction of the driver unit. Support the unit. HEXA GEAR Acquires Information on the unit. Assembly of the HEXA GEAR. Energy regeneration of all unit.



HEXA GEAR™

BUI TOHRU “GAIFU KAISEI”

ASSEMBLY MANUAL

CRAFTSMANSHIP
KOTOBUKIYA

© KOTOBUKIYA

COLOR GUIDE

- =Mr. カラーシリーズ (株式会社 GSI クレオス) ■=ガイアカラーシリーズ (ガイアノーツ株式会社)
- 1 Mr. カラー /H-1 水性ホビーカラー : ホワイト ●GX201 Mr. メタリックカラー-GX : GX メタルブラック
- 001 ガイアカラー : ピュアホワイト ■HG-01 ヘキサギアカラー : ヘキサホワイト

レッド

- 68 / H-86 : モンザレッド (85%)
 ●171 : 蛍光レッド (10%)
 ●80 / H-35 : コバルトブルー (4%)
 ●1 / H-1 : ホワイト (1%)
 または
 ■HG-06 : ヘキサレッド (100%)

ブラウン

- 41 / H-47 : レッドブラウン (87%)
 ●1 / H-1 : ホワイト (7%)
 ●8 / H-8 : シルバー (5%)
 ●79 / H-23 : シャインレッド (1%)

ガンメタル

- 2/H-2 : ブラック (60%)
 ●8/H-8 : シルバー (35%)
 ●22/H-72 : ダークアース (5%)
 または
 ■HG-03 : ヘキサフレームガンメタル (100%)

ゴールド

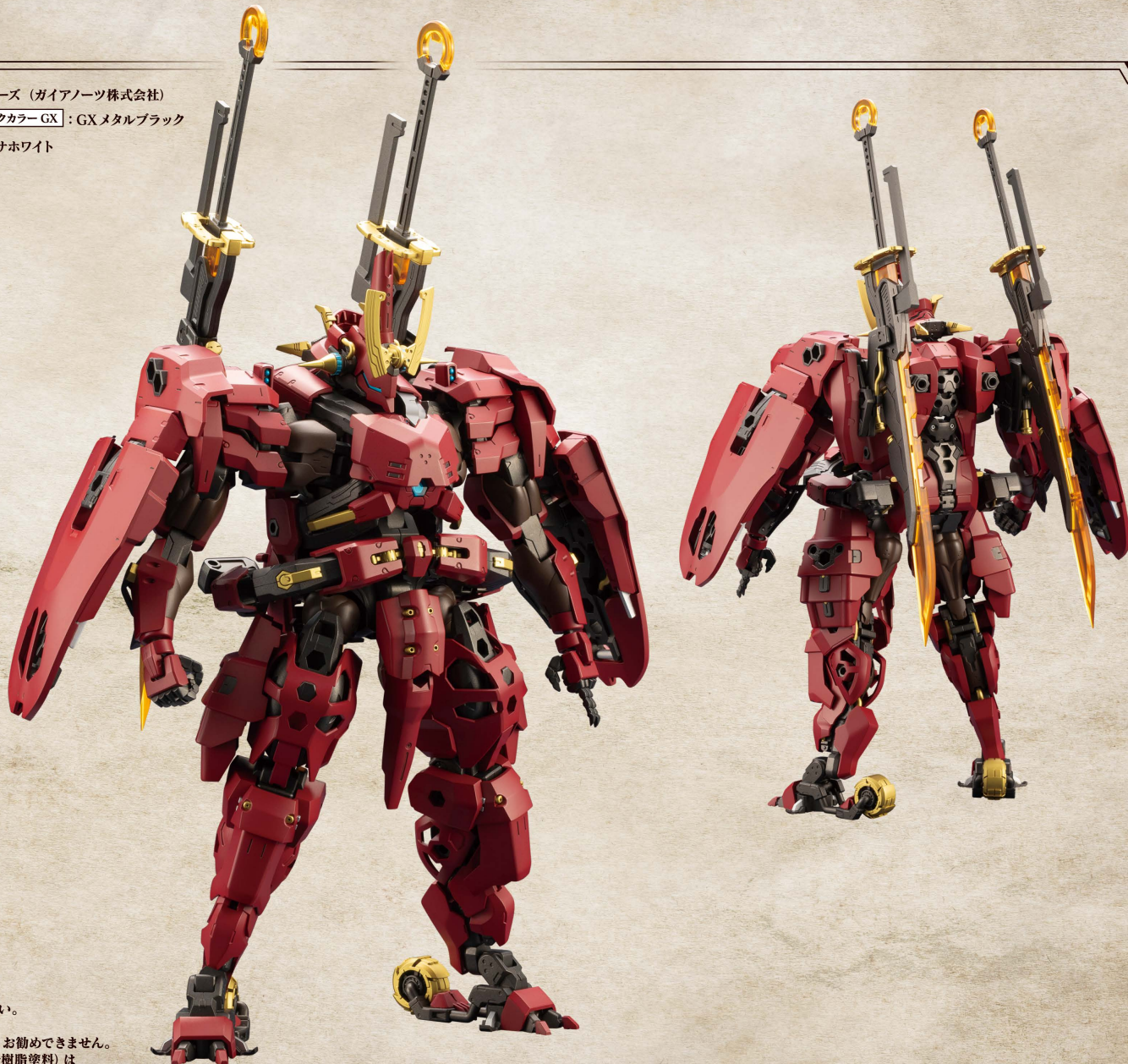
- GX210 : GX ブルーゴールド (100%)

シルバー

- 8/H-8 : シルバー (100%)

メタリックブルー (コンソール)

- 【ベース】
 ●8/H-8 : シルバー (100%)
 【コート】
 ■101 : 蛍光ブルー (80%)
 ●138/H-94 : クリアグリーン (20%)

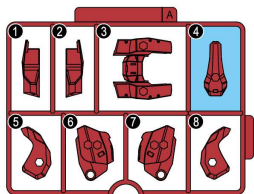


※こちらの塗料は全国の模型店及びホビーショップ等でお買い求めください。
 ※塗料の配合比は参考値になります。ご了承ください。
 ※ABS製パーツへの塗装は、パーツの破損につながる恐れがありますので、お勧めできません。
 ※ラッカー系塗料 (溶剤系アクリル樹脂塗料) と、水性塗料 (水溶性アクリル樹脂塗料) は
 混色できませんので、ご注意ください。

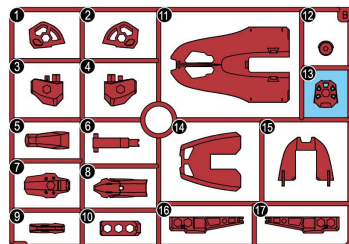
武威登龍 “凱風快晴”/パーツリスト

の部分は余りパーツです。

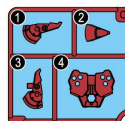
パーツA
(PS)



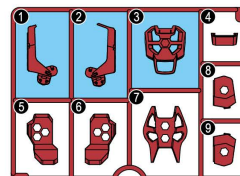
パーツB×2
(PS)



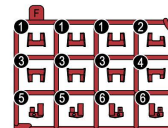
パーツC
(PS)



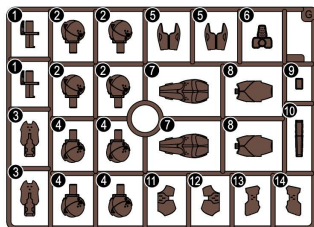
パーツD×2
(PS)



パーツF
(PS)



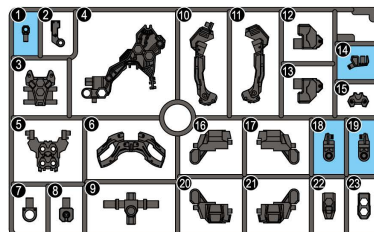
パーツG
(PS)



パーツH
(PS)



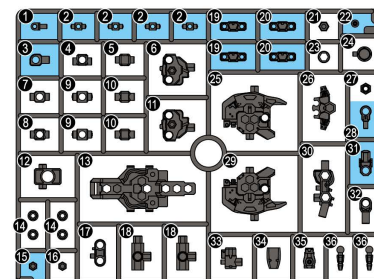
パーツI
(ABS)



パーツJ
(ABS)

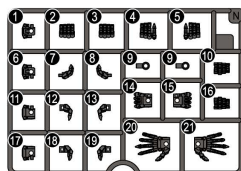


パーツK×2
(ABS)



※K10の余りは予備パーツです。

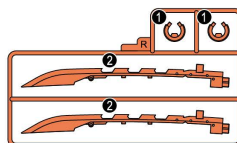
パーツN
(ABS)



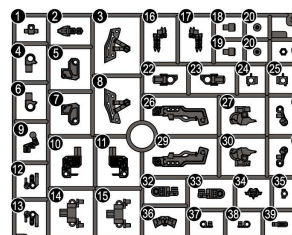
パーツO
(PS)



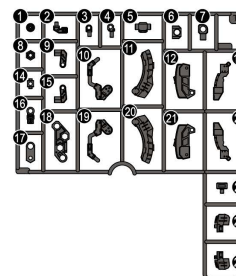
パーツR
(PS)



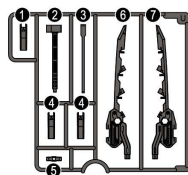
パーツS
(ABS)



パーツT×2
(ABS)



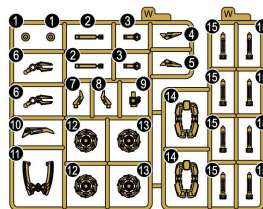
パーツU×2
(ABS)



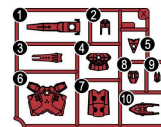
パーツV
(PS)



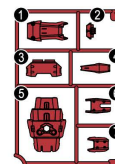
パーツW
(PS)



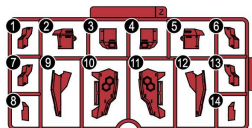
パーツX
(PS)



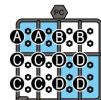
パーツY×2
(PS)



パーツZ
(PS)



PC (ポリキャップ) パーツ
(PE)



※PC●、PC●の余りは
予備パーツです。

PC (ポリキャップ)-A パーツ×2
(PE)



※PC-A●の余りは
予備パーツです。

⚠ 組み立て前にお読みください。(下図のパーツは説明用の一例です。本製品のものではありません。)

⚠ 注意

- 本製品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満の方には、絶対に与えないでください。
- 窒息などの危険がありますので、誤飲に注意してください。小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 製法上やむをえず尖った形状の部品がありますので、誤って目や皮膚を刺さないように注意してください。
- 部品加工の際、出た削りカスを吸わないように注意してください。
- 塗料や接着剤の使用の際、必ず換気を良くして行なってください。
- 部品の加工の際、刃物の取り扱いには十分注意してください。
- ぶつけたり振り回すなどの、乱暴な遊びをしないでください。思わぬケガをする危険があります。
- 本製品は予告無く仕様を変更する場合がございます。ご了承ください。

■必ずお読みください。

- 組み立てる前に必ずパーツリストで各パーツの有無を確認してください。
- パーツはニッパー・カッター等できれいに切り取ってください。
(ケガには十分注意してください)
- 組み立てには、カッターナイフ・プラスチックモデル用塗料などを使用します。
- 塗料はより安全な水性塗料をおすすめします。
- 工具・材料は、模型用品取扱店等でお買い求めください。
- 塗装についてのお問い合わせはお答えできかねる場合がございます。

【パーツの接続について】

本製品の組み立てはハメ込み式ですが、別売りのプラスチックモデル用接着剤を使用して組み立てることで、よりしっかりとした仕上がりをお楽しみ頂けます。

※ABS製パーツが入っている場合、ABS用接着剤をご使用ください。

記号の説明



はめ込む



○内の順番で
組み立てる



パーツの向きに注意



破損に注意



切り取る



選択式



パーツの下にある
ゲートを切り取る



切り取る位置に注意

パーツ番号について

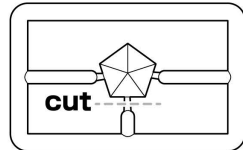
パーツ番号は数字とアルファベットの組み合わせで、構成されています。

〈A1の場合〉

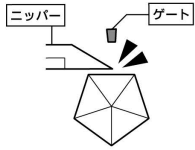


パーツの切り取り方

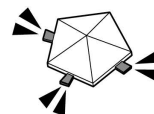
①パーツから少し離れた部分を切り取ります。



②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。



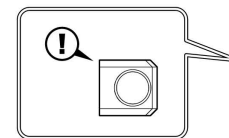
✕ゲートが残っていると、きれいに組み立てることが出来ません。



二重線の吹き出しについて

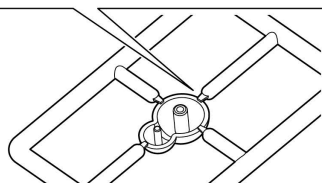
二重線の吹き出しは、『横から見た図』や『組み立てた図』などの補足図になります。形状をよく確認して組み立ててください。

〈使用例〉

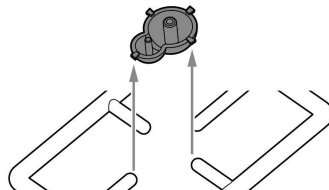


🔪のついたパーツの切り取り方

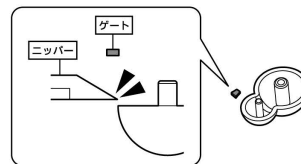
パーツの下側にゲートが付いています。



①パーツから少し離れた部分を切り取ります。



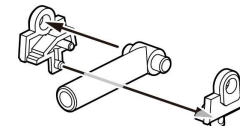
②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。



はめ込む矢印のグレー部分

はめ込む矢印のグレー部分は、組み立てるパーツが他のパーツの下をくぐる場合や、軸や接続穴が隠れている場合に使用しています。

〈使用例〉

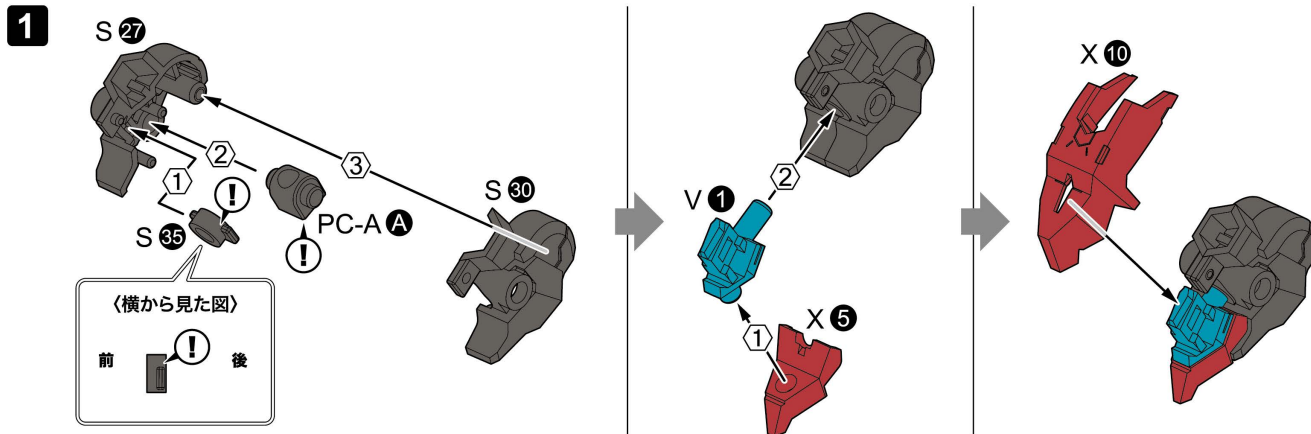
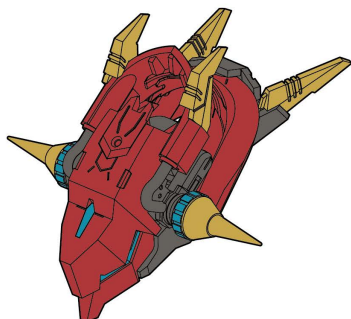




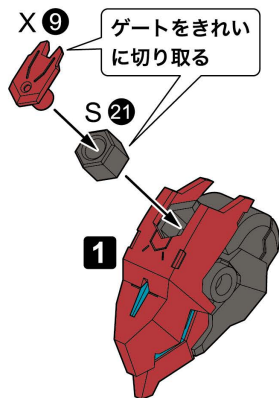
本書のイラストは開発中のデータを使用しています。やむをえず細部の形状が実際の製品と異なっている場合がございますが予めご了承ください(組み立てに支障はございません)。
3mm軸等汎用的な取り付け箇所については一例です。カスタマイズの参考にご利用ください。

武威登龍“凱風快晴” 頭部の組み立て

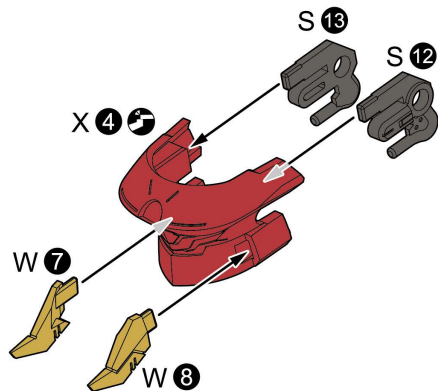
〈完成図〉



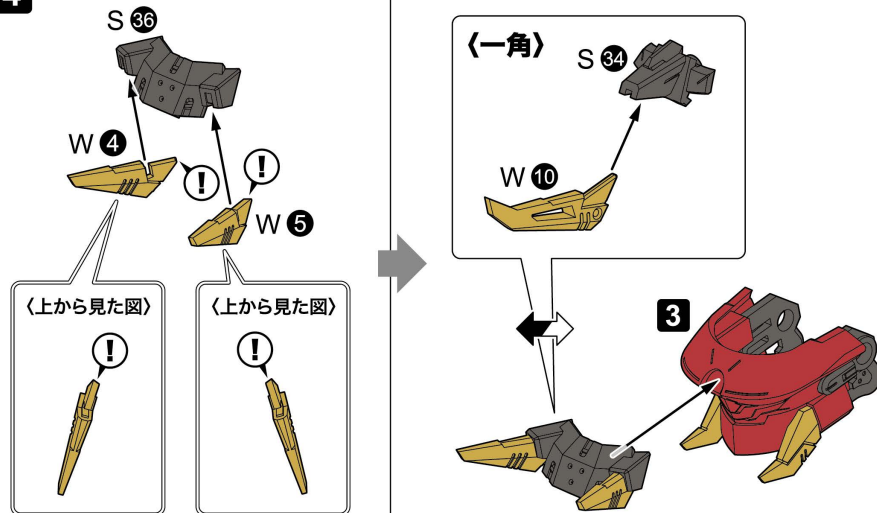
2



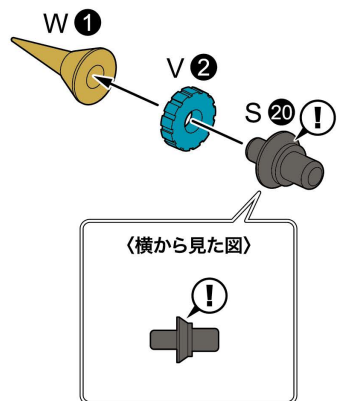
3



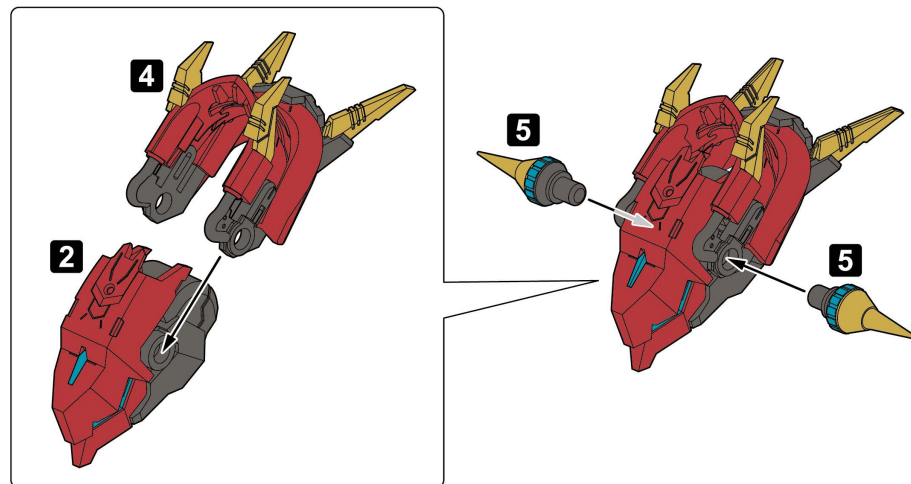
4



5 X2



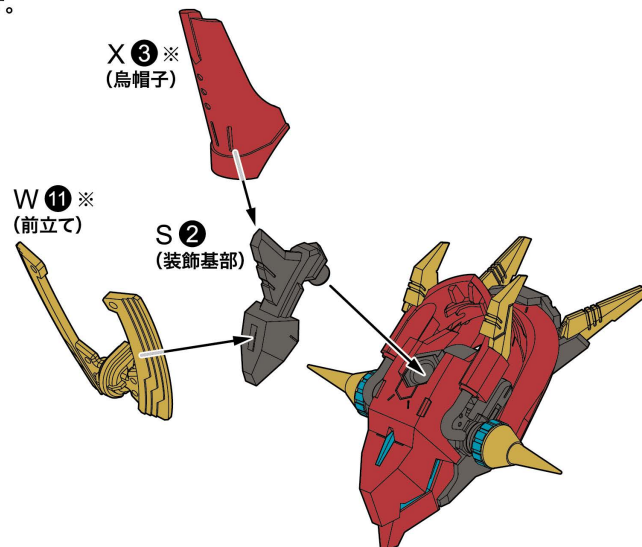
6



頭部装飾について

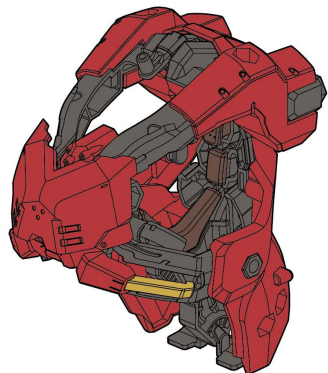


※W 11、X 3の使用は選択式です。

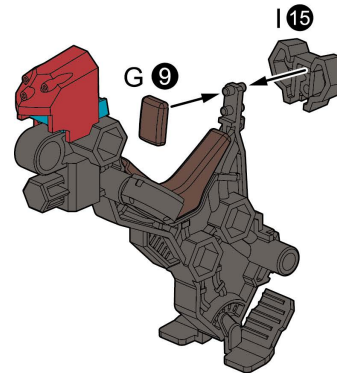
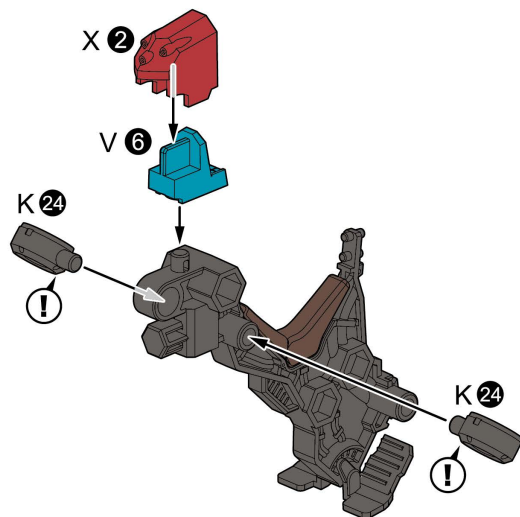
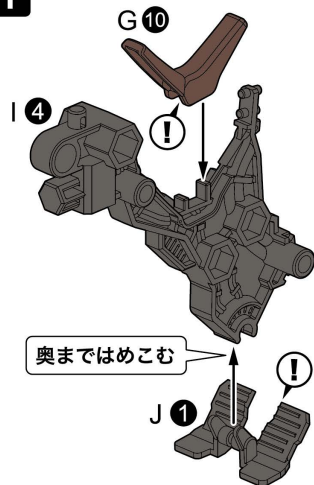


胸部の組み立て

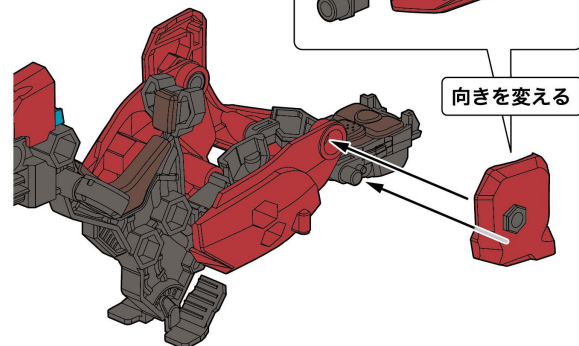
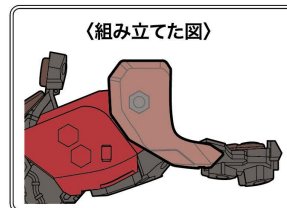
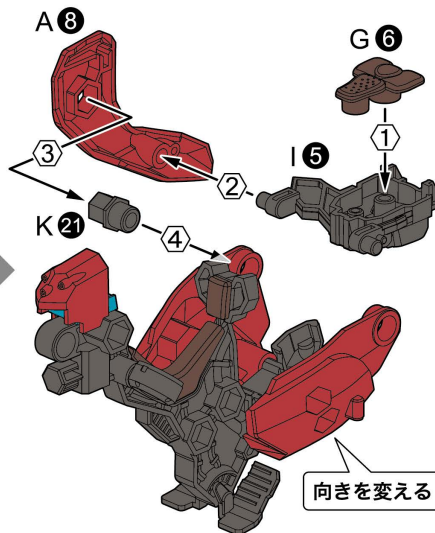
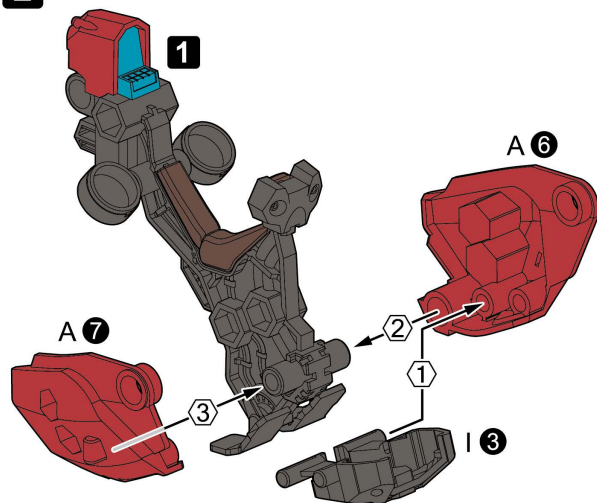
〈完成図〉



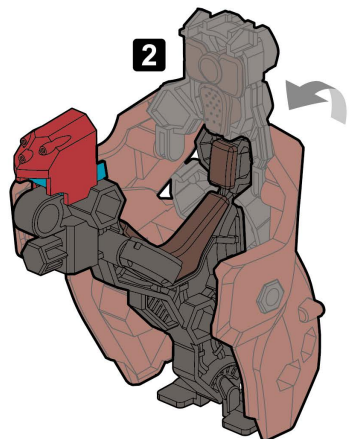
1



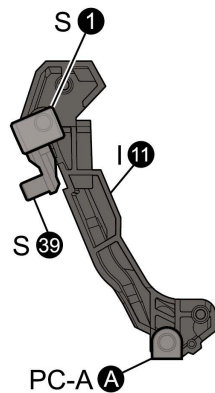
2



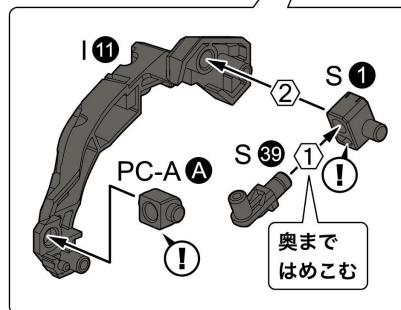
3



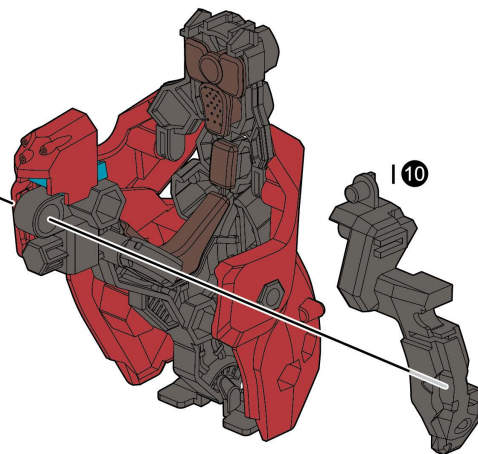
〈各パーツの取り付け位置〉



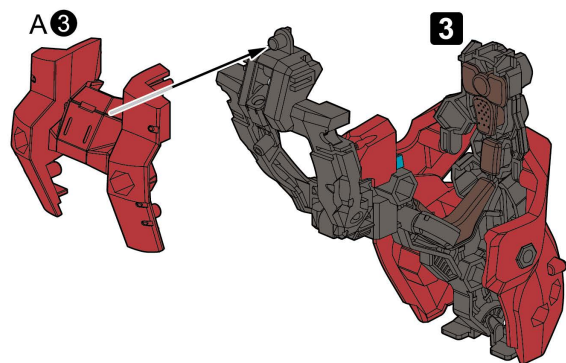
向きを変える



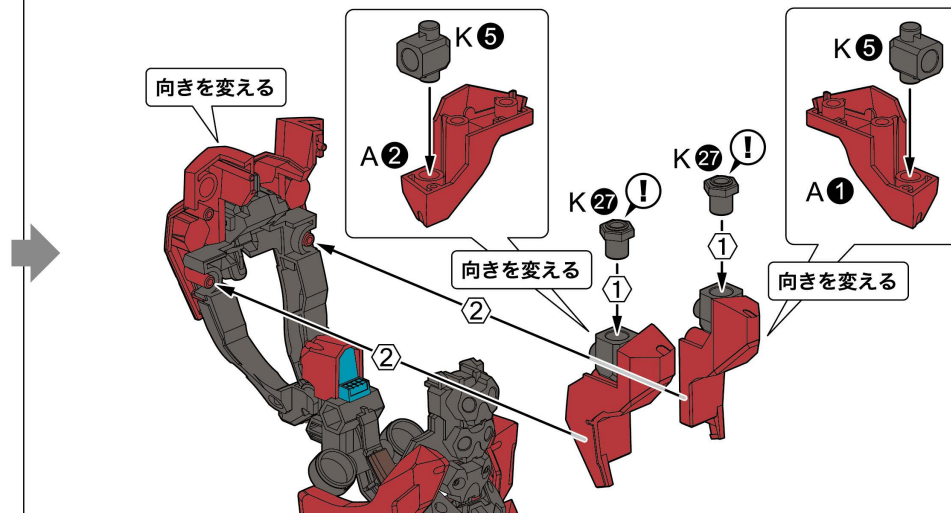
奥まではめこむ



4



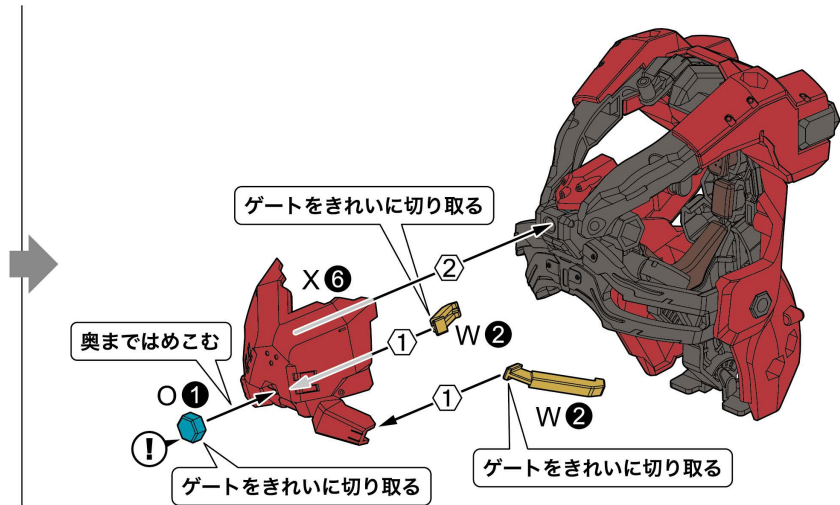
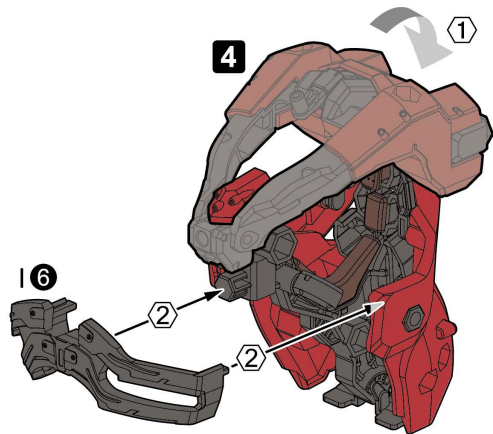
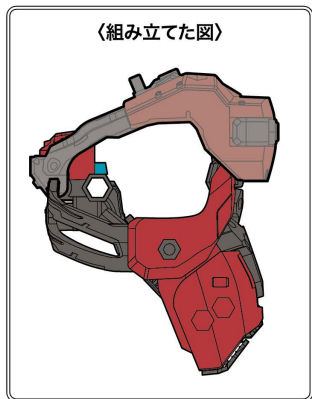
向きを変える



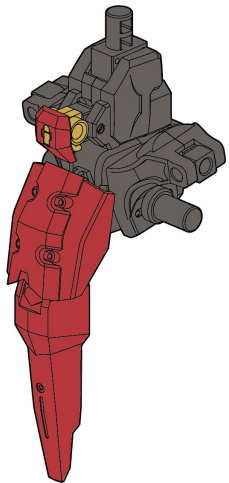
向きを変える

向きを変える

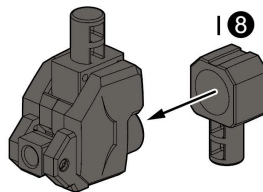
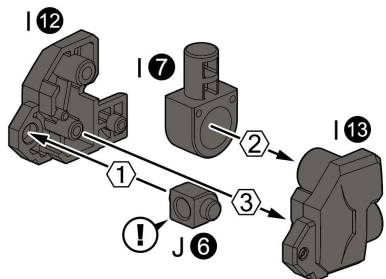
5



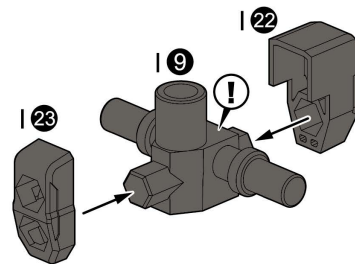
腰部の組み立て



1

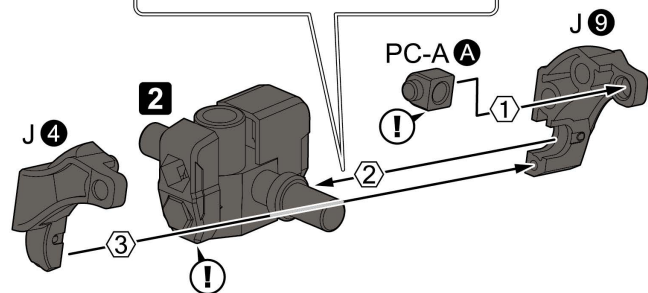


2

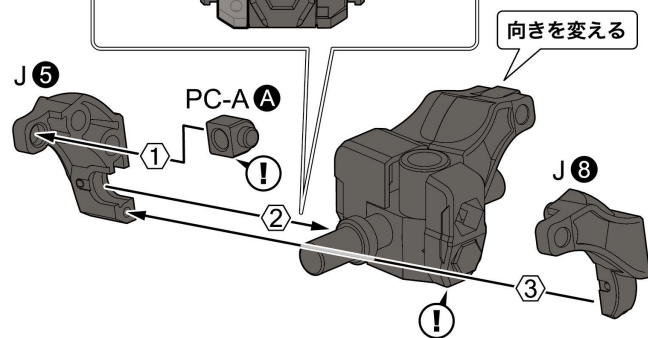


3

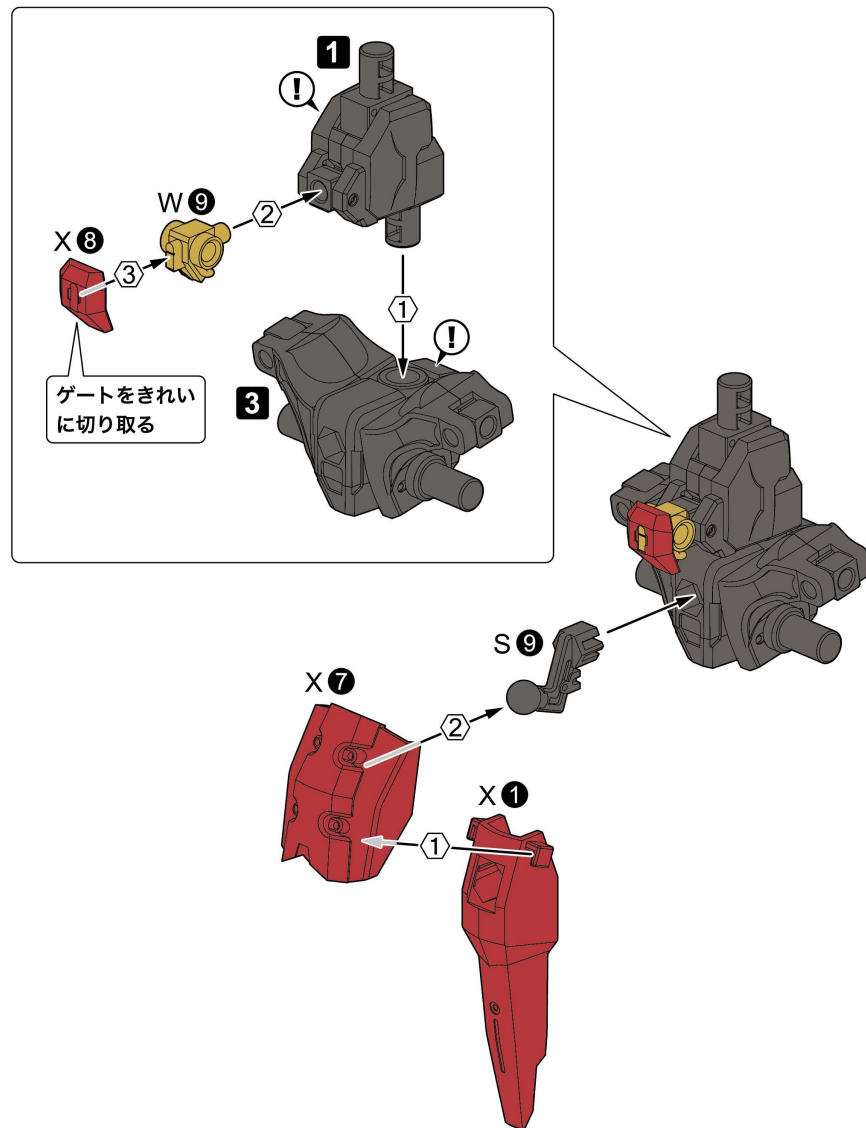
〈各パーツを取り付けた図〉



〈各パーツを取り付けた図〉

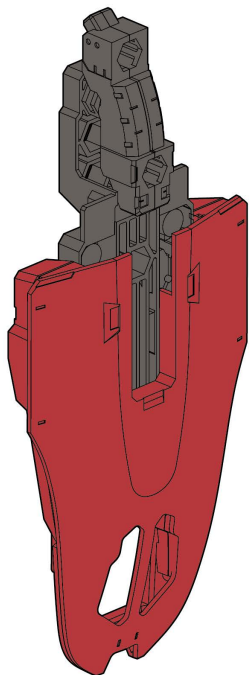


4

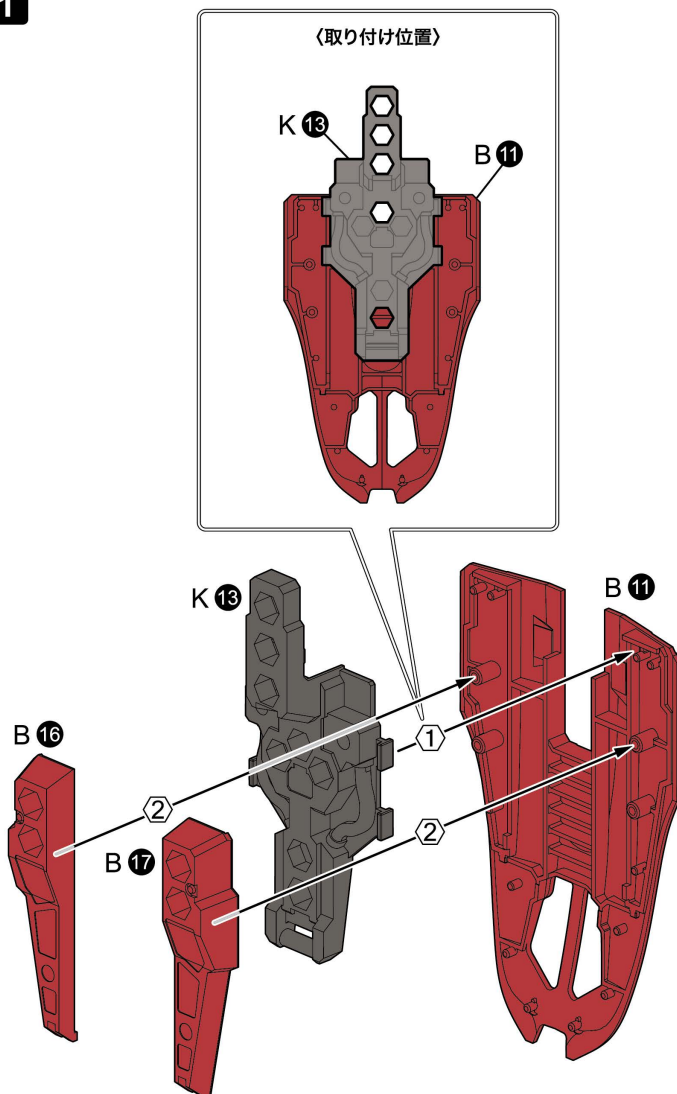


×2 イグジットスライダーの組み立て

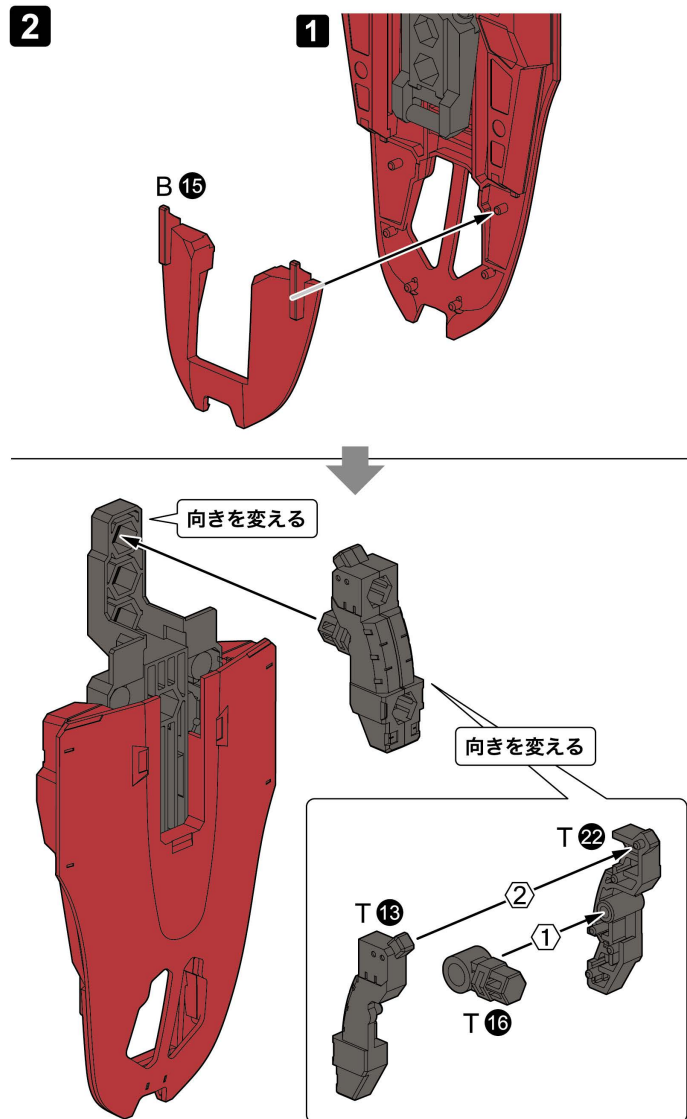
〈完成図〉



1

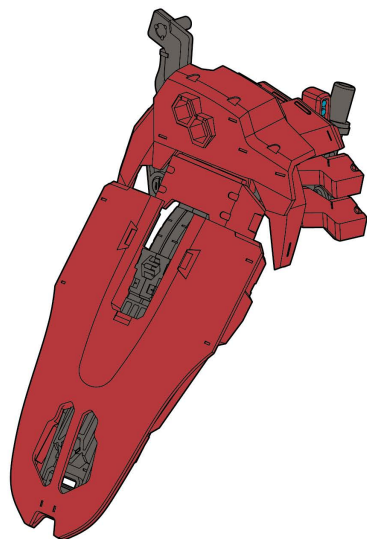


2

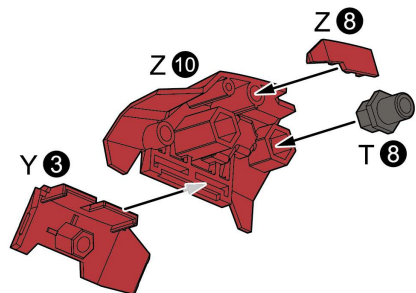


右肩部の組み立て

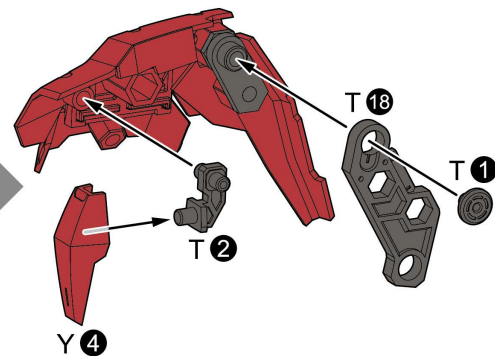
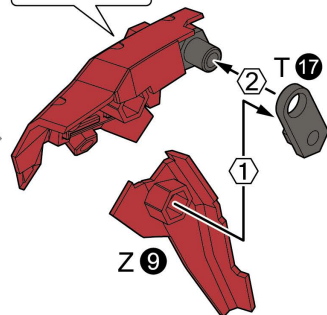
〈完成図〉



1

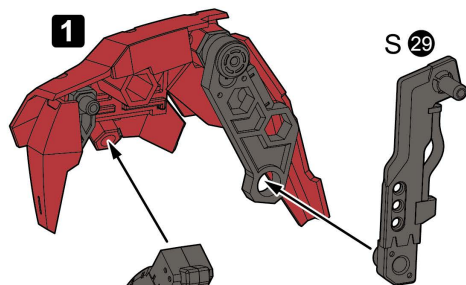


向きを変える

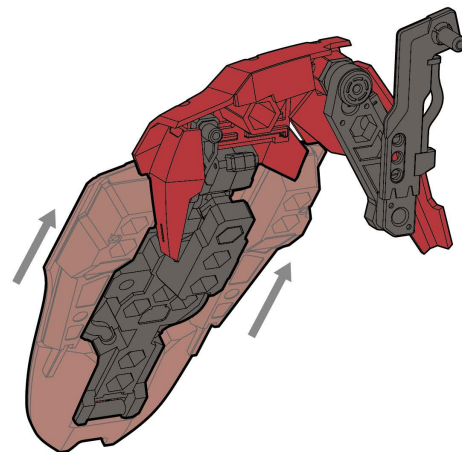
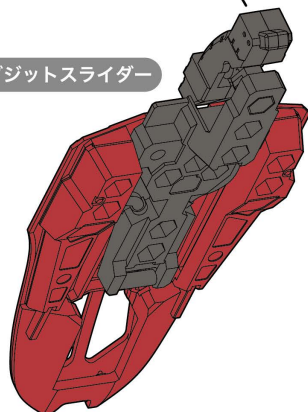


2

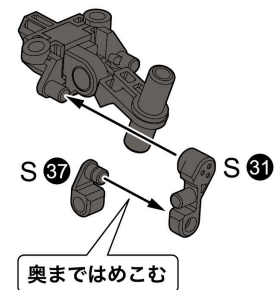
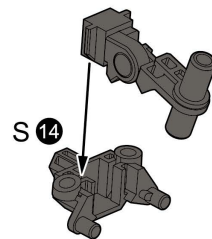
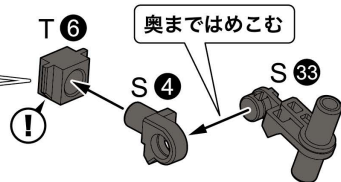
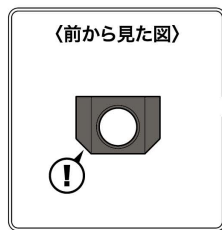
1



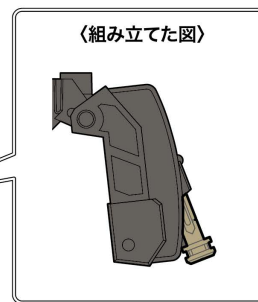
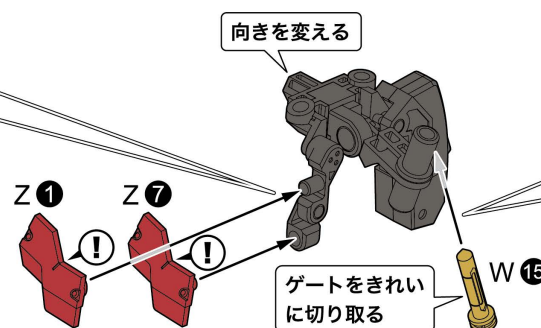
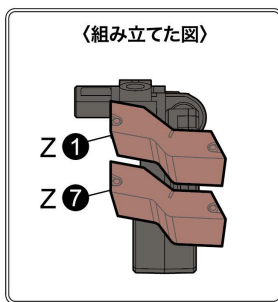
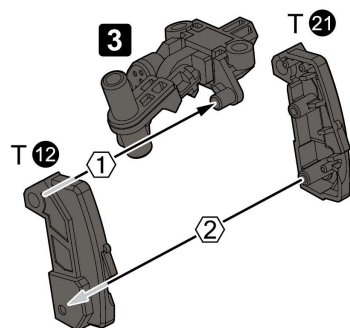
イグジットスライダー



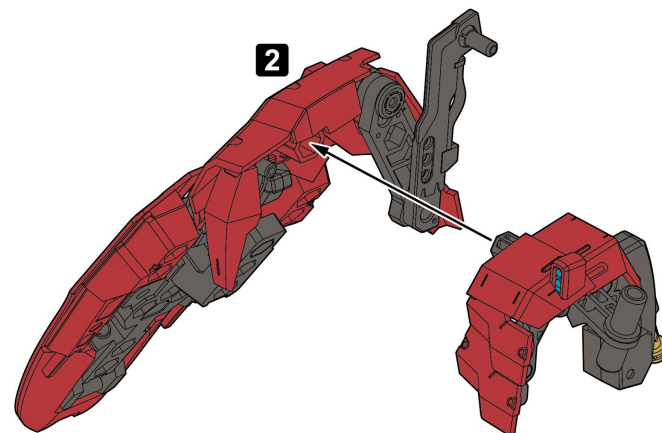
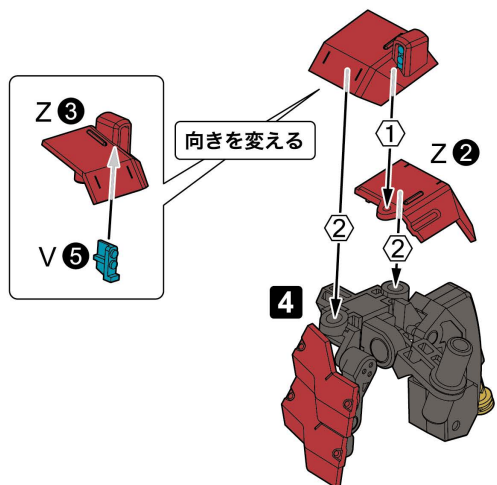
3



4

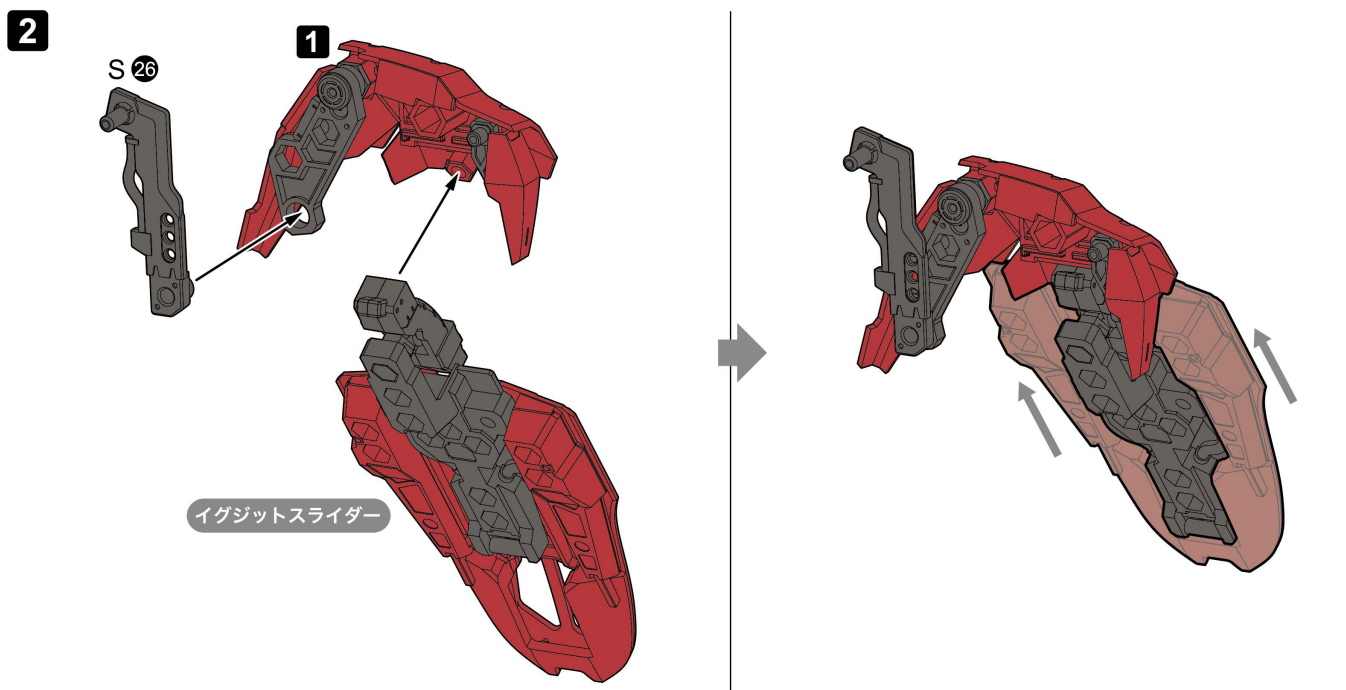
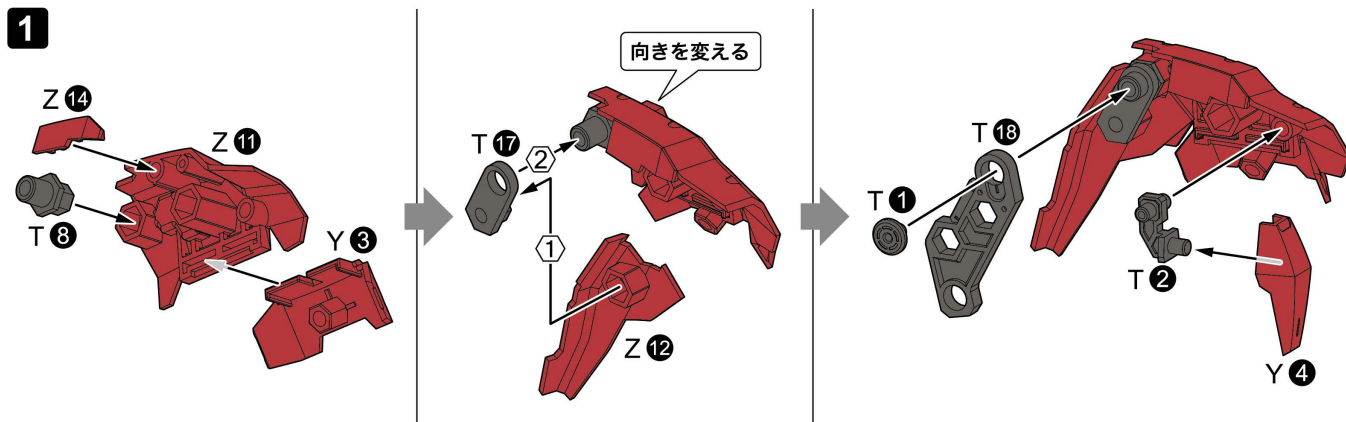
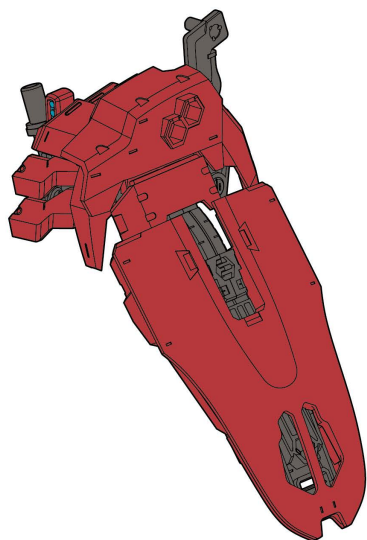


5

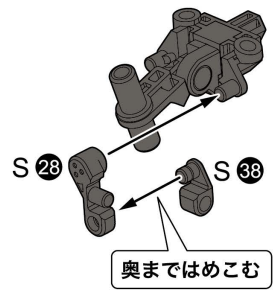
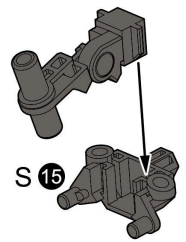
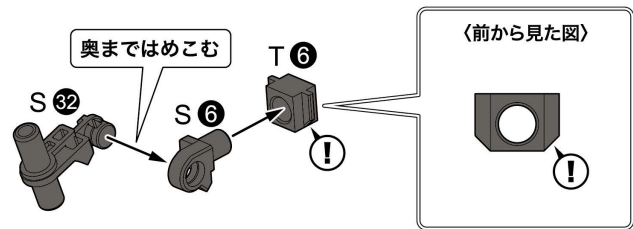


左肩部の組み立て

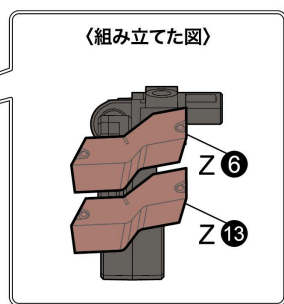
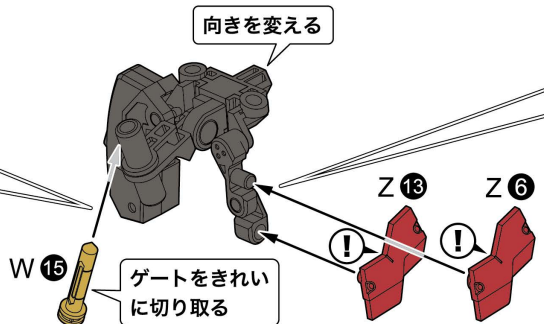
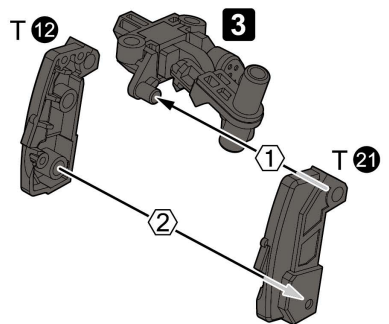
〈完成図〉



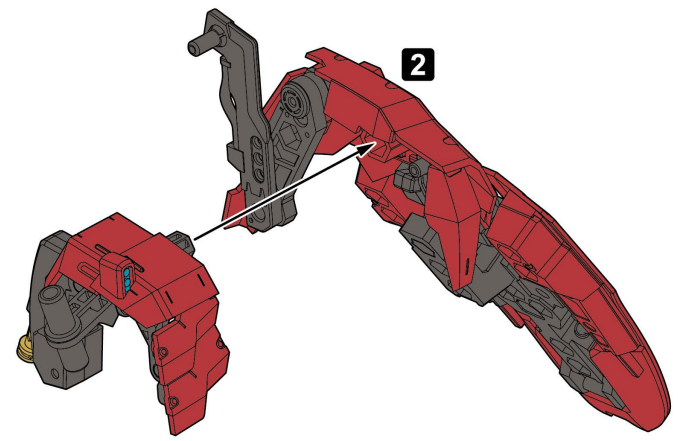
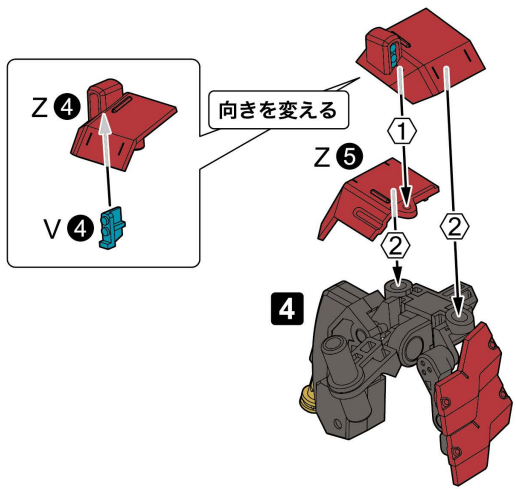
3



4

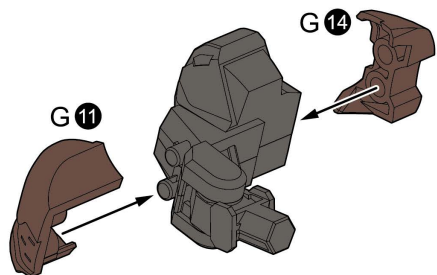
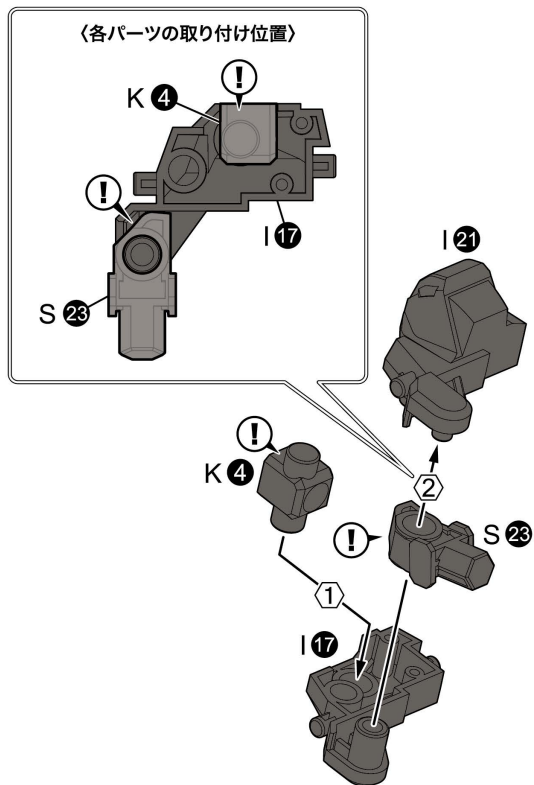
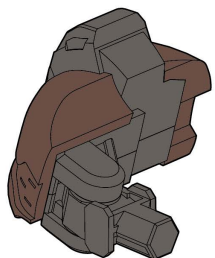


5



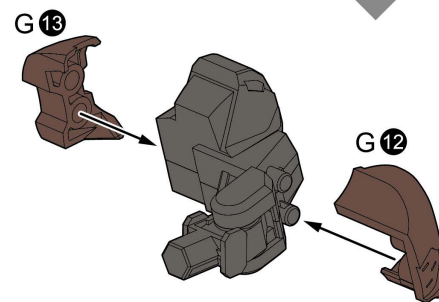
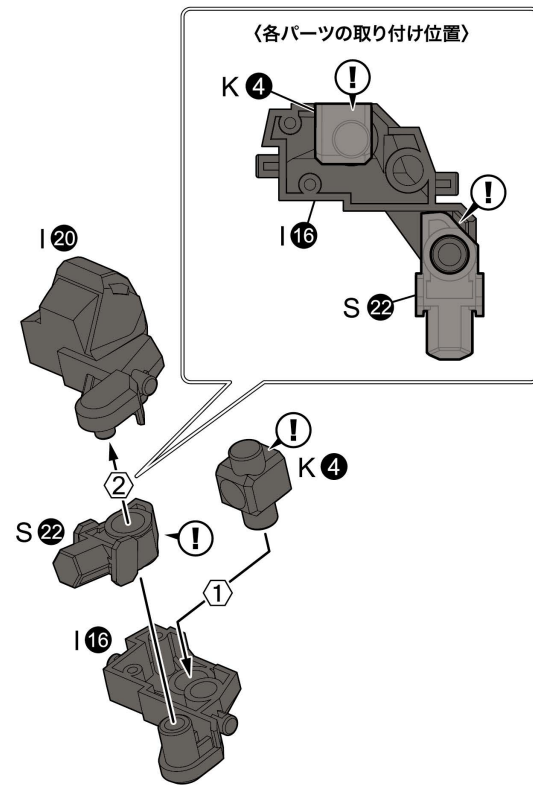
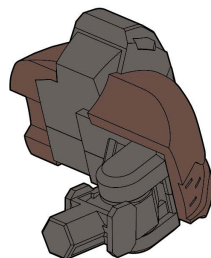
胸部ユニット(右)の組み立て

〈完成図〉



胸部ユニット(左)の組み立て

〈完成図〉

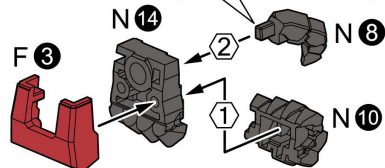


ハンドパーツの組み立て

※ハンドパーツは選択式です。

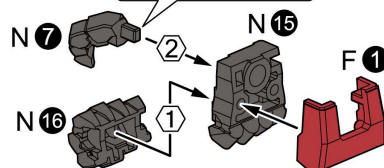
〈握り手(右)〉

切り取る位置に注意

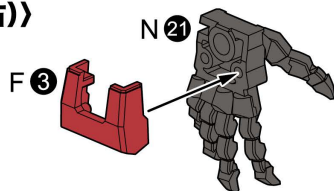


〈握り手(左)〉

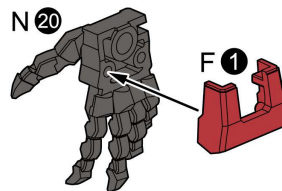
切り取る位置に注意



〈平手(右)〉

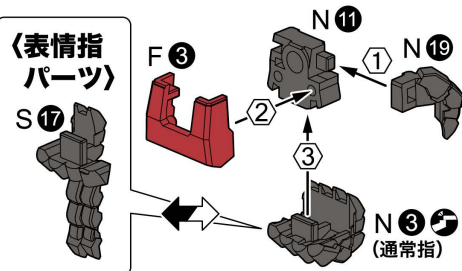


〈平手(左)〉



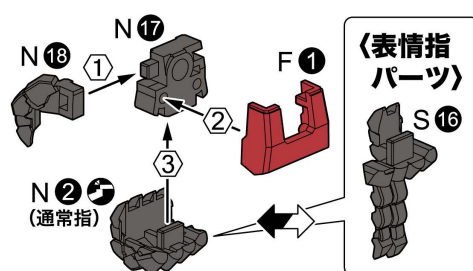
〈武器持ち手①(右)〉

〈表情指パーツ〉

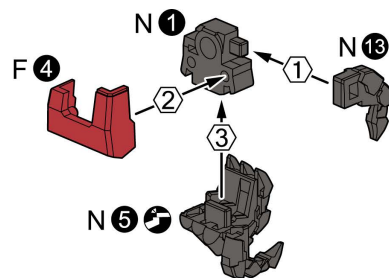


〈武器持ち手①(左)〉

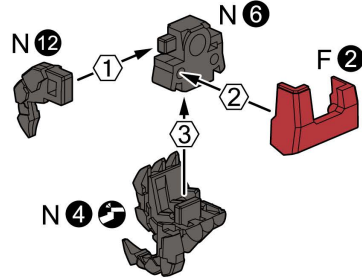
〈表情指パーツ〉



〈武器持ち手②(右)〉



〈武器持ち手②(左)〉

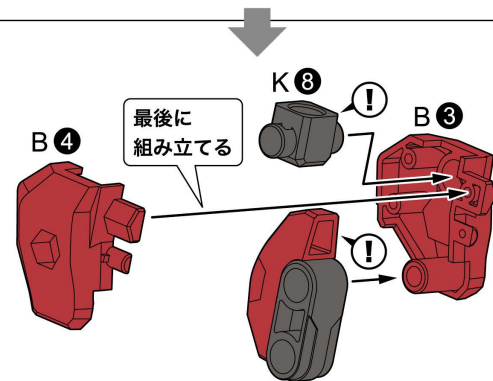
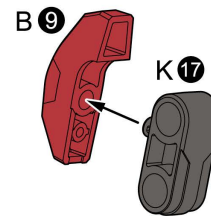


×2 腕部の組み立て

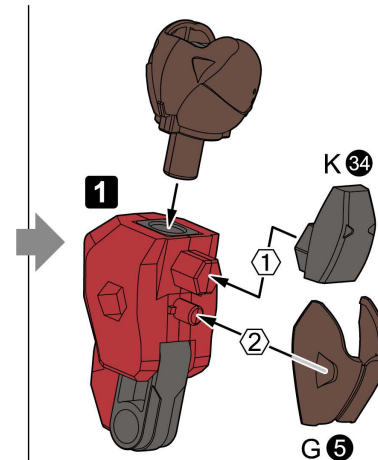
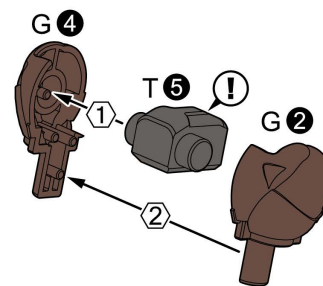
〈完成図〉



1

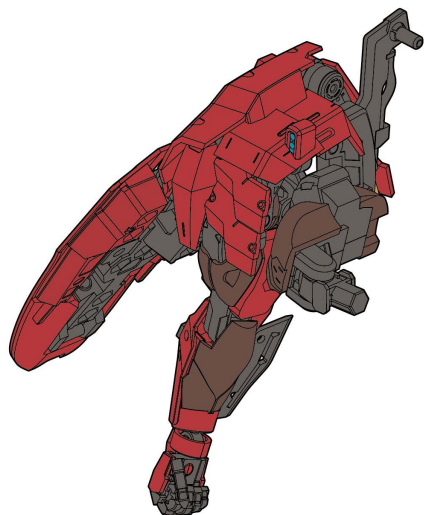


2

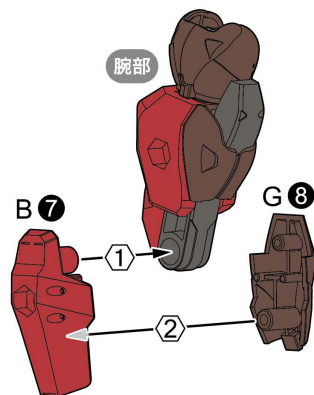


右腕の組み立て

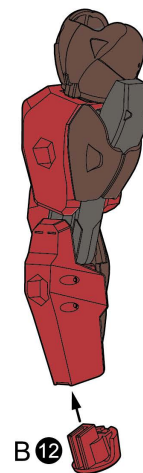
〈完成図〉



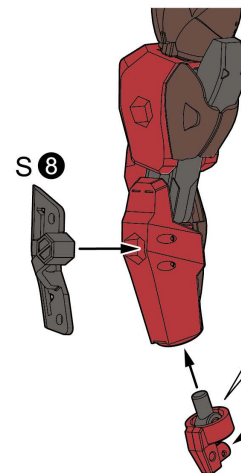
1



B 12



S 8

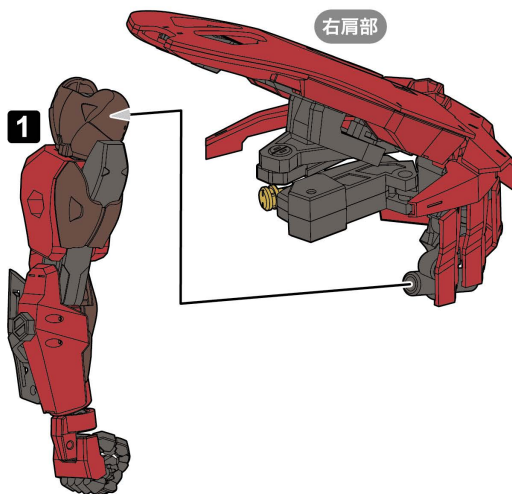


F 5 N 9 F 6

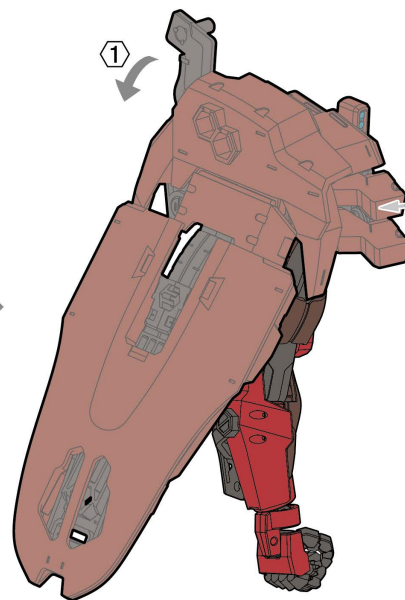
ハンドパーツ



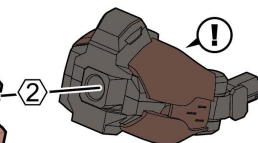
2



1



胸部ユニット(右)





HETERODOX



機体解説

機体の通称となっている“凱風快晴”とは、本来は極東の孤列列島を遠い祖に持つヘテロドックス出身者のみで編成された傭兵部隊の名称であり、彼らの伝承の中で語られる巨大な霊峰の名に肖った物であるという。永い流浪と闘争の歴史と共に受け継がれてきた彼らの精神性と戦闘技術は「忘我廻廊」との適合に優れた特性を見せ、突撃時には常に先鋒を務めるその苛烈な戦いぶりと実際の戦果によって独自仕様のブイトール運用をリバティー・アライアンスに認めさせた。

機体の改装については彼ら独自の戦闘教義を反映するべく部隊の母体となったヘテロドックス集団を主体として進められ、上体を中心に重装甲を施した防御力重視、かつ敵味方が近距離で入り乱れる混戦状態での格闘戦を強く意識した仕様が特徴となっている。

このような装甲配置は機体上部に重量が偏る事から静的安定を欠き、射撃時の集弾性低下や被弾時の転倒率などから通常であれば敬遠されるものである。しかし本機は、それらデメリットを敢えて許容した上で体術に熟達したガバナーが忘我廻廊を通して機体重心を掌握、これを自在に制御することで、こと接近戦においては原形機をも凌駕する運動性へと昇華させている。これには彼らの使う地を擦るような独自の歩法、そしてそれを機械的に強化すべく増設された滑走戦輪脚も大きく寄与している。敵味方が入り乱れる乱戦のさなかで“舞”を踊るかのごとく回避運動を見せたかと思えば、繰り出す剣戟のインパクトの瞬間には“重さ”を最大化させ確実に敵手を仕留めるその殺法は、彼らが戦火の下で決して手放すことなく磨き続けてきた実戦的な刀剣類による戦闘技術へヘキサギアという最新の兵器環境に適応進化させたものといえよう。

また独自に鍛刀した「撃発式超大型戦術刀」以外にも各々が得意とする槍や薙刀、投擲短刀、果ては長弓を模した武具を再現製作し相互に複雑に連携し戦う様子も見られ、これらは総じて「人型ヘキサギアを用いた白兵戦闘の極致」とすら言われるほどの見事さであったという。

しかし、斯様に究めて実践的でありながら同時に人としての体術を極め、忘我廻廊に高い適性を示す彼らにしか運用できない機体構成及び戦術は、リバティー・アライアンス上層部からは「前提条件としての属人性が高すぎる故に一般化することは不可能であり、また射撃戦闘の機会も多い戦場において、あくまでも十全な後方・側面支援あつてのみ成立しうる」とも評価されており、従来の正規部隊で積極的にこれを採用するような動きはない。

彼らが愛機と己自身に課す「武威登龍＝武威を以て龍たらん」という言霊は、リバティー・アライアンス内におけるそうした特異な立ち位置に対する反骨と自負の顯れであったのかもしれない。流れ着いた異境の空の下に在ったなお武人たる姿を追い求めて止まない「紅き龍」の群れは、思い思いの具足を纏い居並ぶ砲列の槍袞を野火の如く喰ひ破る。猛き雄叫びと共に。

黒備え(夜襲仕様)



撃発式超大型戦術刀

ブイトールに装備されている「荷電式超大型戦術刀」とは異なり、斬撃よりも破断を、切れ味よりも耐久性を求めて打たれた太く無骨な戦術刀。両肩の後方にそれぞれ一振りずつ装備され、たとえ一方が破損した場合でも懸架アームの展開機構により素早く戦闘に復帰する事が可能となっている。戦闘では外観通り「碑品質の刀剣」として用いられ、そのままでもその質量と硬度によって十分な破壊力を持つが、峰の部分に装填された三本の大釘型ヘキサグラムストレージから任意で刀身である碑品質にエネルギーを充填、接触の瞬間に解放する事で打撃力を飛躍的に高める特殊機構を搭載している。ストレージ一基当たり十台前後の撃発が可能。

大釘型ヘキサグラムストレージ

戦術刀に瞬間的に高エネルギーを発生させることに最適化するため、ヘキサグラムをエレメント状態で封入したエネルギーカートリッジ。二振りの戦術刀に装填された合計六基の他に左右の大袖後部にも各一基ずつの予備が格納されており、戦闘中の副腕による換装、またはこの大釘その物を投擲あるいは直接相手の機体に打ち込み撃発させるという使用法も取られている。ただし、後者の場合は高出力のエネルギーに至近距離で暴露するため、使用者自身も多大なダメージを覚悟する必要がある。

滑走戦輪脚

カカト部分に追加された動輪機構ですり脚による歩法を機械的に発展強化させることで機体に高い機動性と旋回性能を付与する装備だが、未熟な者が使用すると転倒を招く。動輪部、基部共に高い耐久性を誇り、前腕部に増設されたブレードと共に二刀を喪失した際の徒手格闘戦にも用いられる。

腹部補助腕

腰部を起点に腹部を取り巻くように配置された補助腕は複数の関節と簡易マニピレータを備え、大釘型ヘキサグラムストレージの交換の他、機体の重心制御の補助や小型火器を装備するなど、ガバナーそれぞれの得意とする戦技によって様々な応用される。

特殊強化処理鎧甲

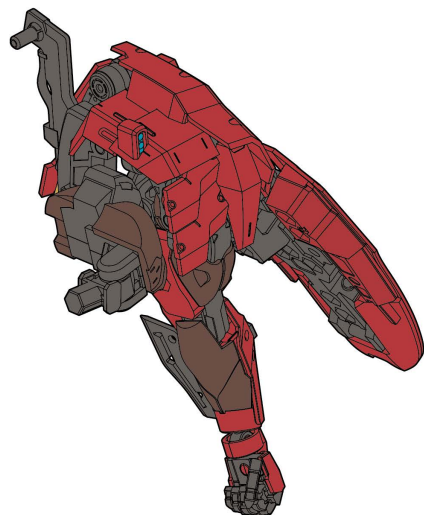
特徴的な紅い色の装甲は、かつてレイティング・ゲームにおいて活躍した第2.5世代可変ヘキサギア「レッドアラート」と同質の装甲表面コーティングに由来している。ただし、レッドアラートでは軽量化の為に低下した装甲強度の底上げとしていた所を、「凱風快晴」では増設した装甲に加えて更に防御力を向上させる意図で施されている点で異なっている。なお、同じく紅い装甲を纏い、刀剣での格闘戦に固執したとされるレッドアラートとの関連については不明となっている。

イグジット・スライダー

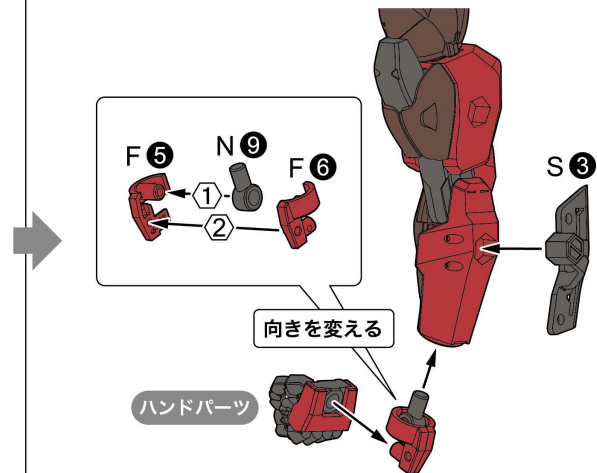
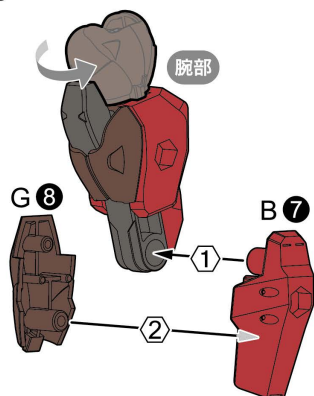
通常のブイトールでの腰部への装着と異なり両肩外端部に装備され、主に前方への加速と進行方向への防御力の集中を主眼に置いた配置へと変更されている。ただし、配置箇所及び装備数はガバナーの扱う武器に合わせて変更される事もある。

左腕の組み立て

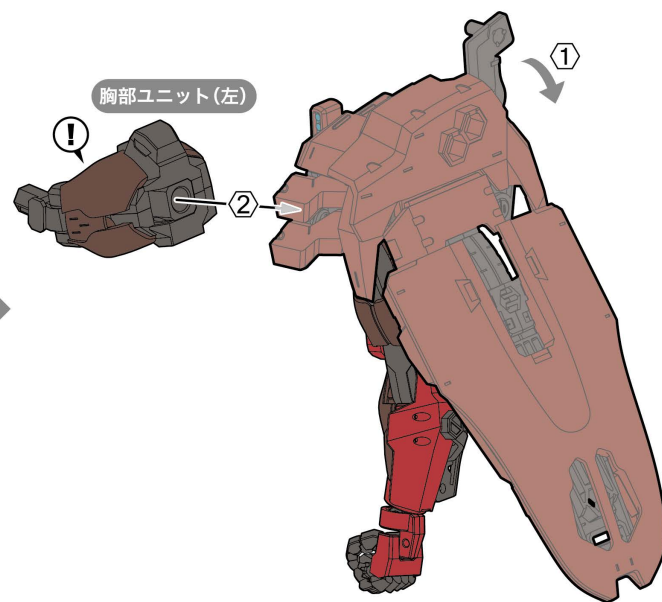
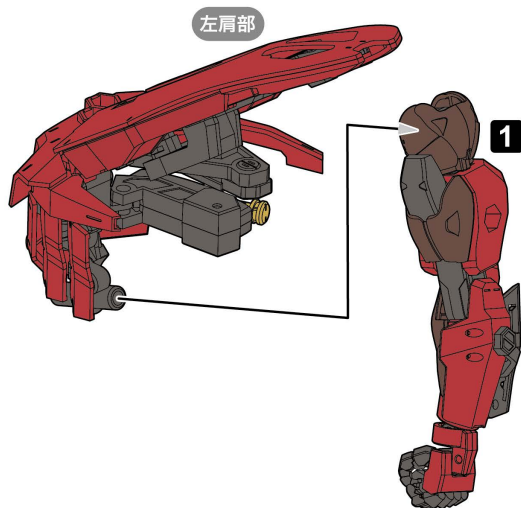
《完成図》



1

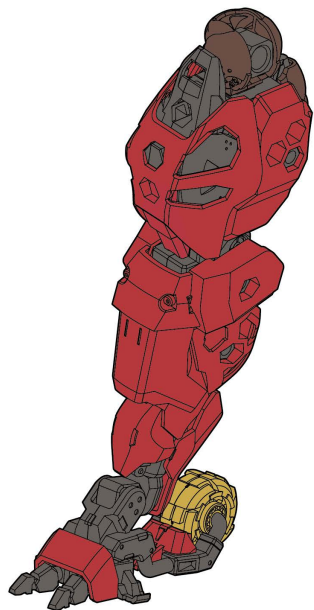


2

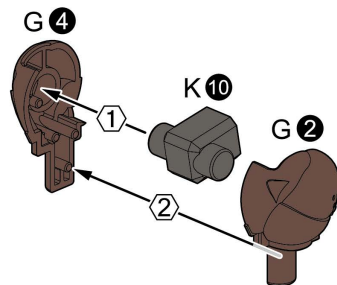


×2 脚部の組み立て

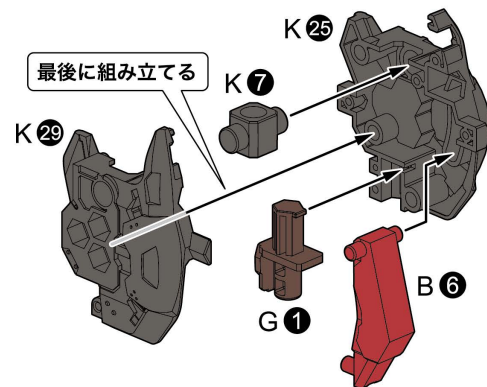
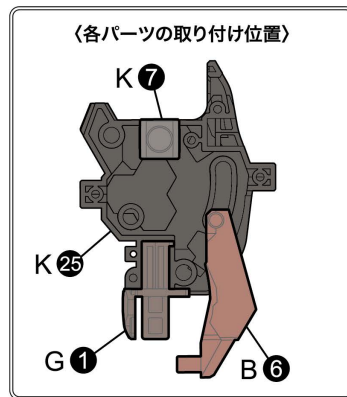
〈完成図〉



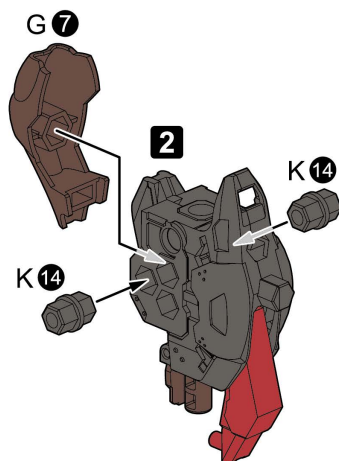
1



2

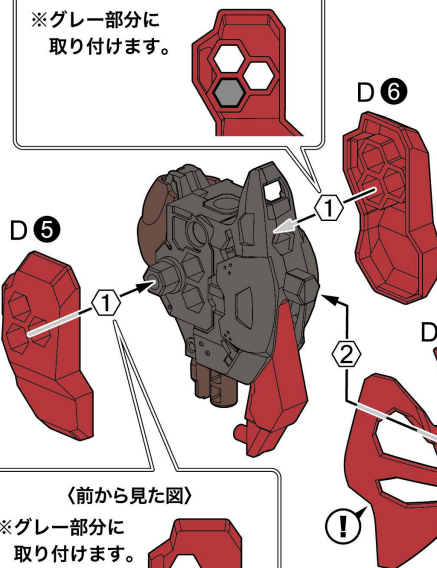


3



〈前から見た図〉

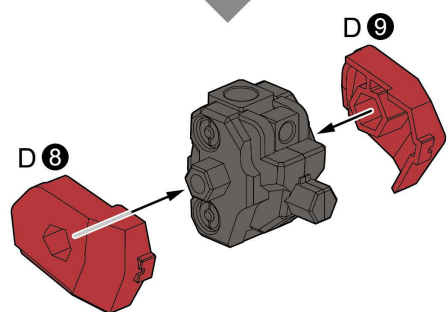
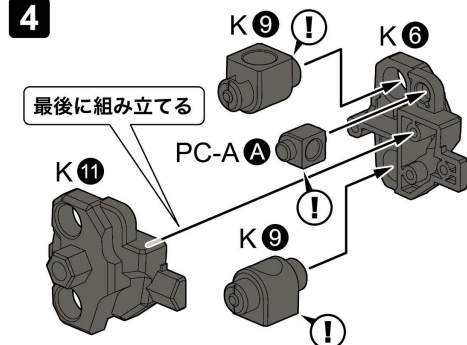
※グレー部分に取り付けます。

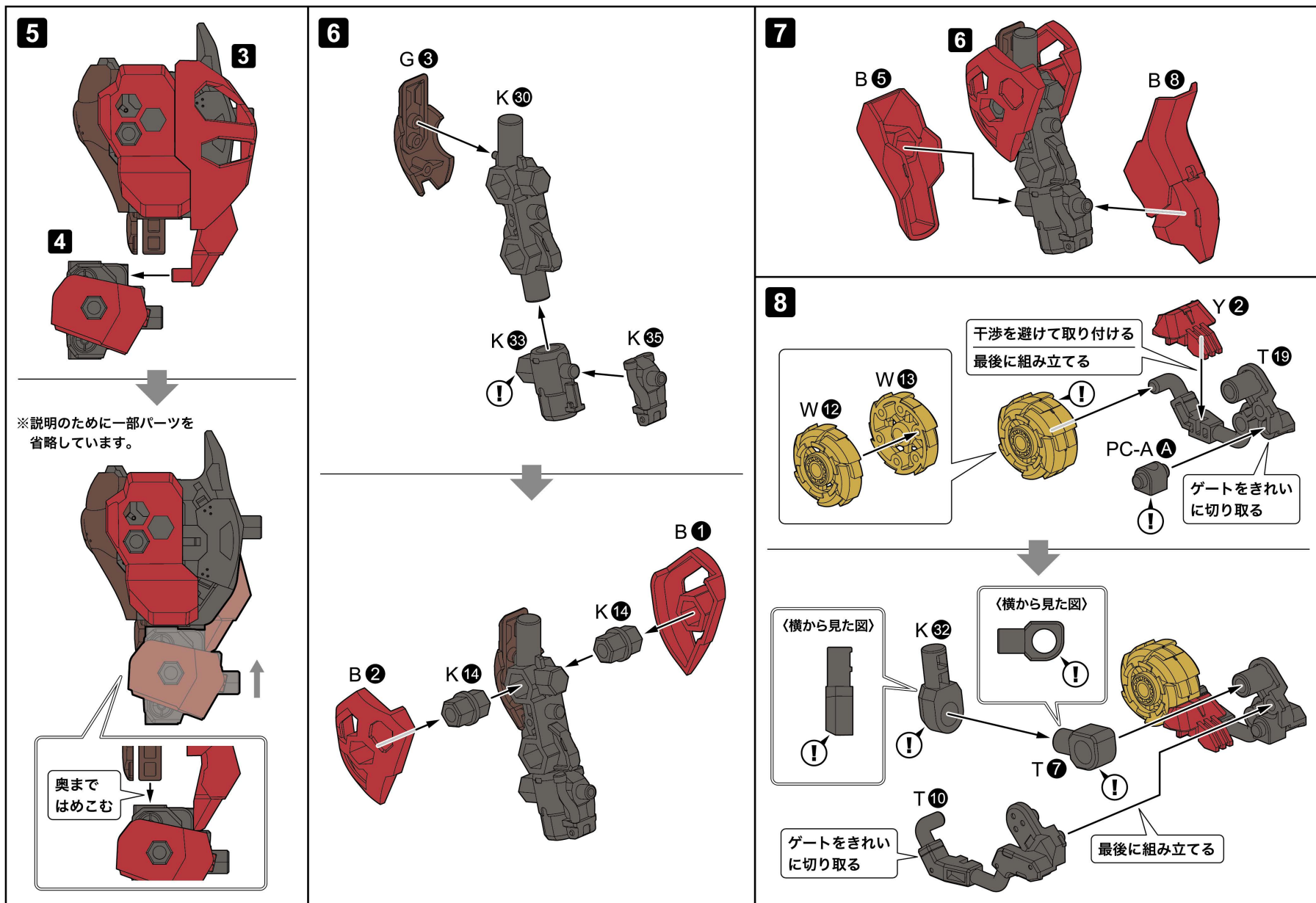


〈前から見た図〉

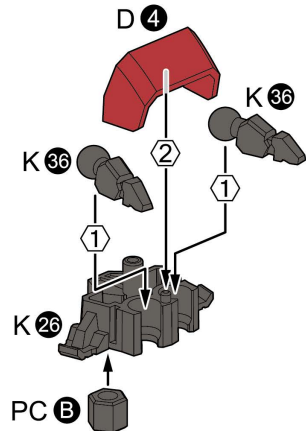
※グレー部分に取り付けます。

4

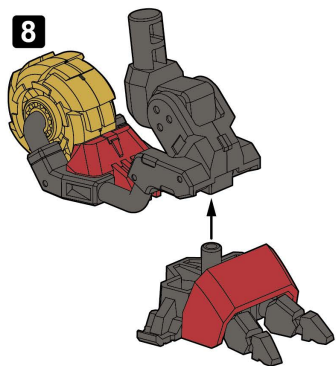




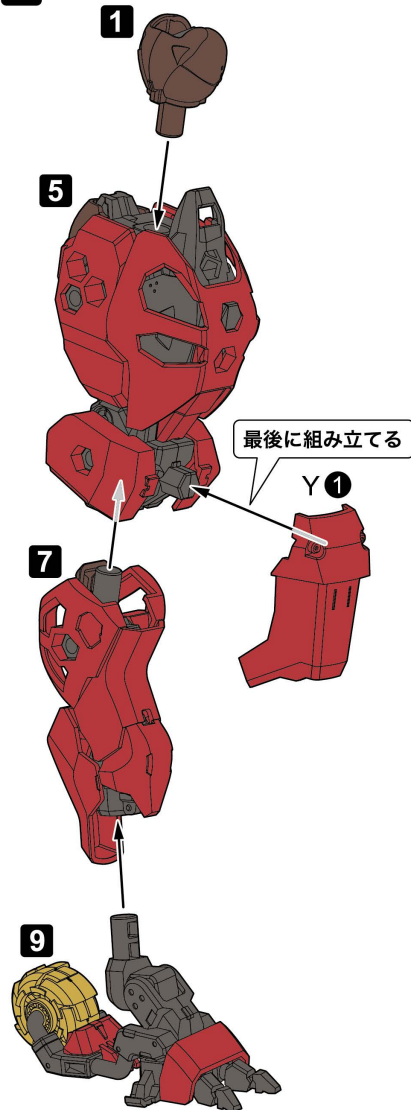
9



8

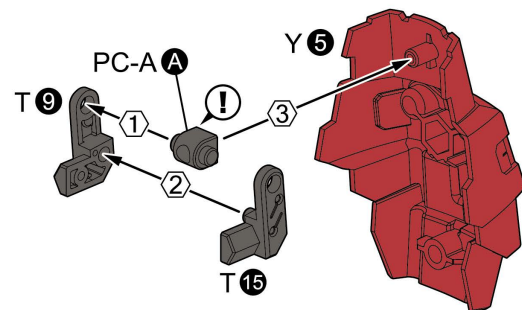
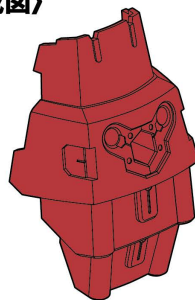


10

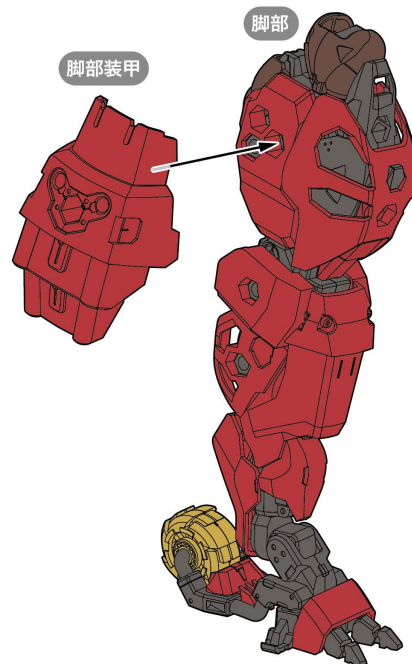


×2 脚部装甲の組み立て

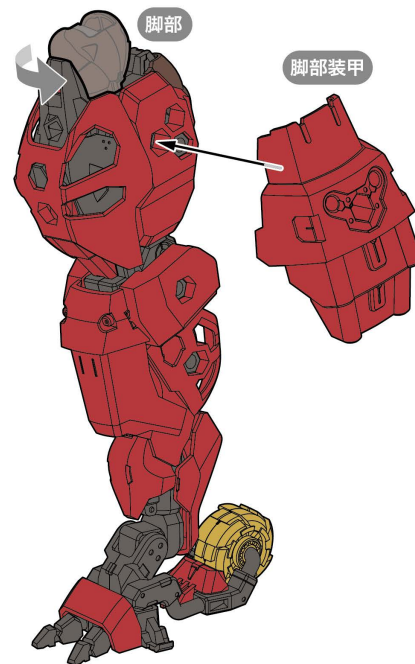
〈完成図〉



右脚の組み立て

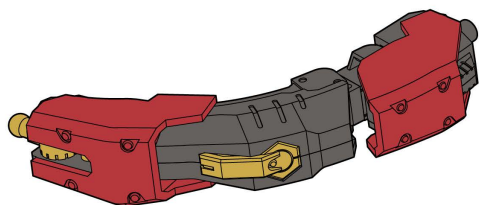


左脚の組み立て

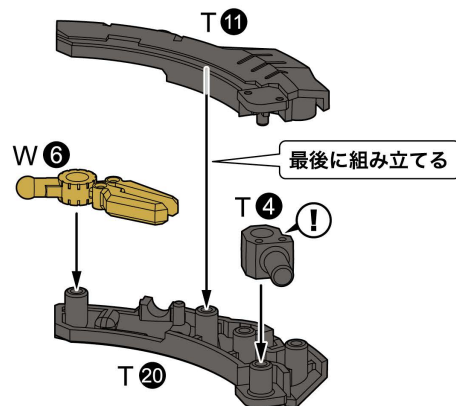


×2 腹部補助腕の組み立て

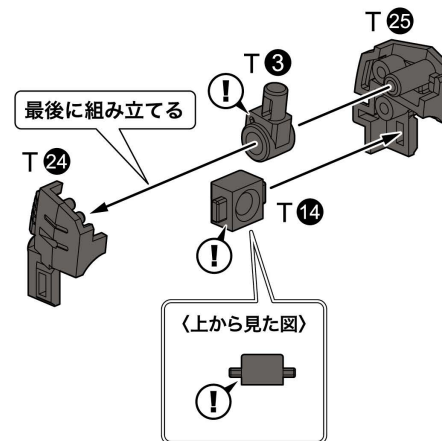
〈完成図〉



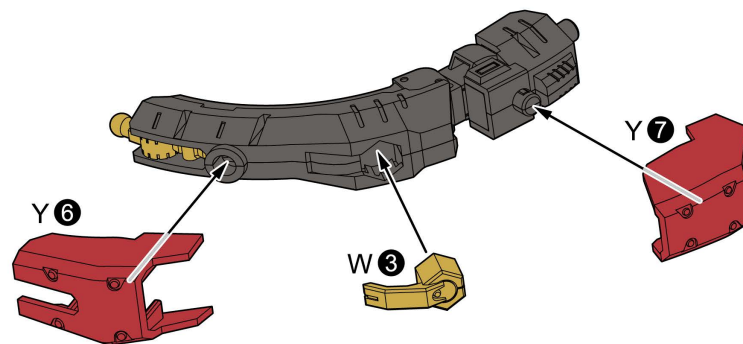
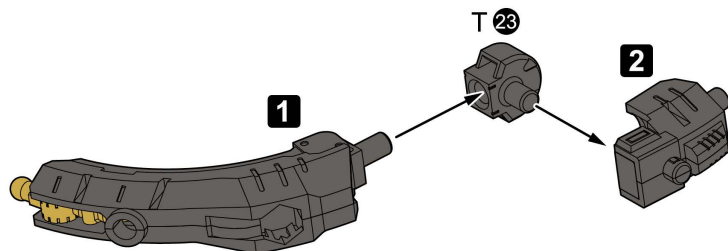
1



2

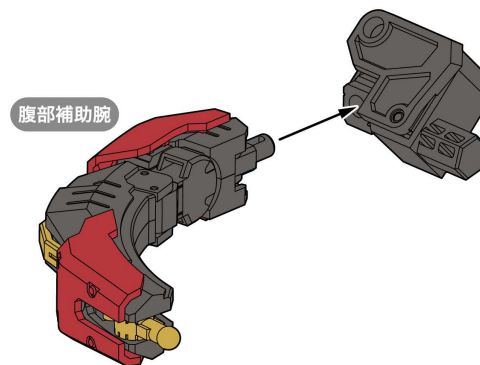
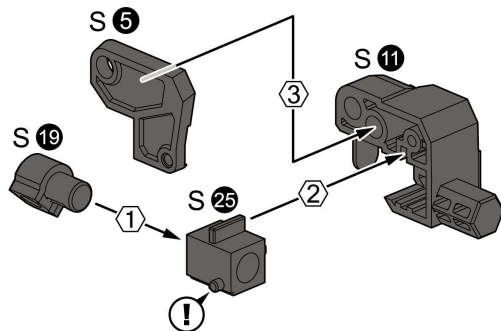
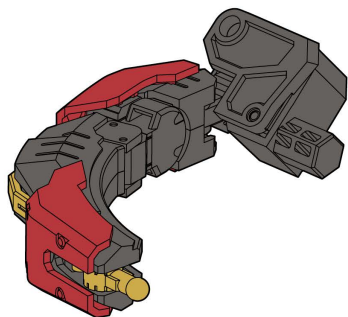


3



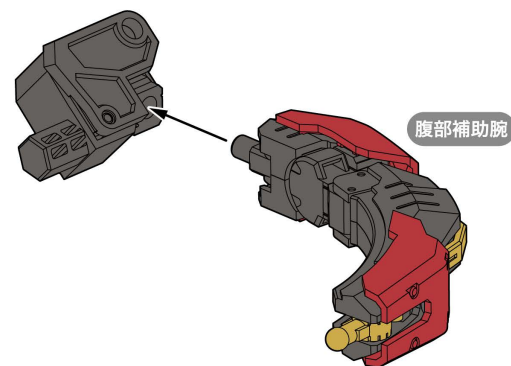
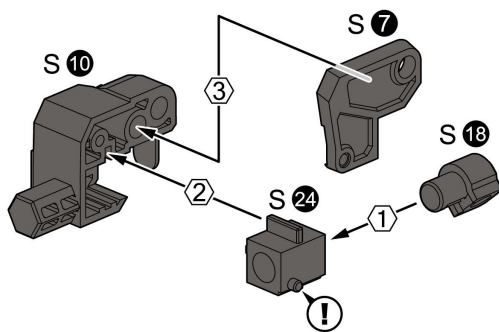
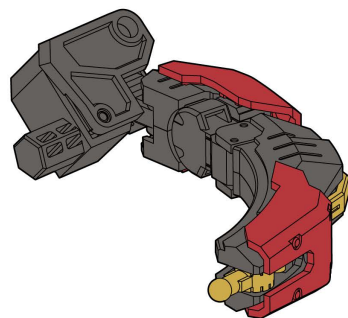
右腹部補助腕の組み立て

〈完成図〉



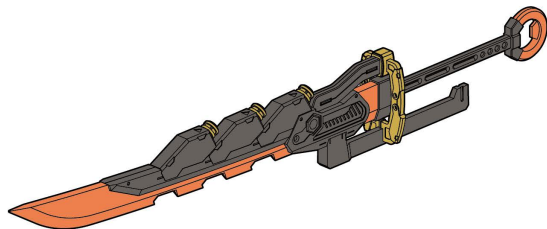
左腹部補助腕の組み立て

〈完成図〉

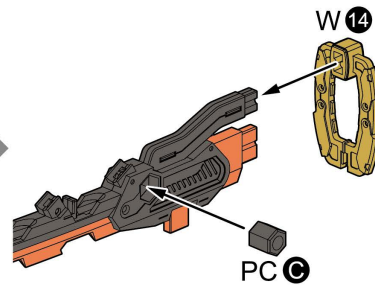
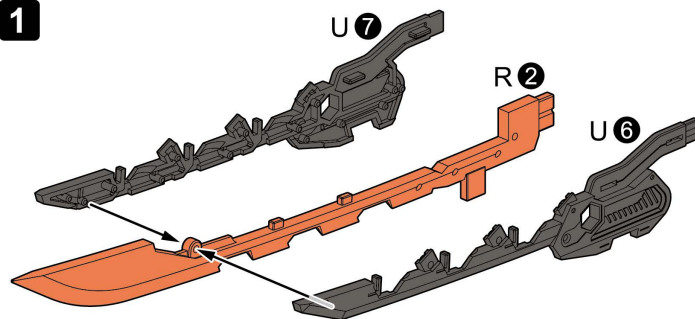


×2 撃発式超大型戦術刀の組み立て

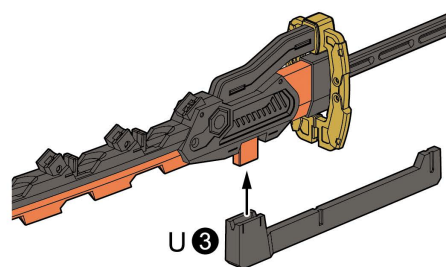
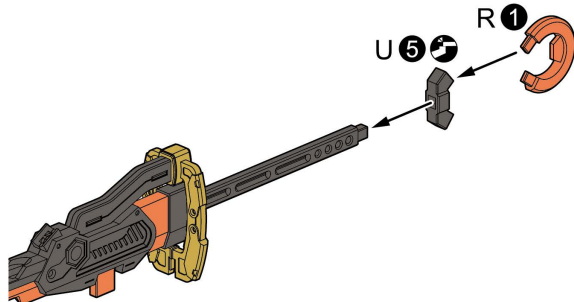
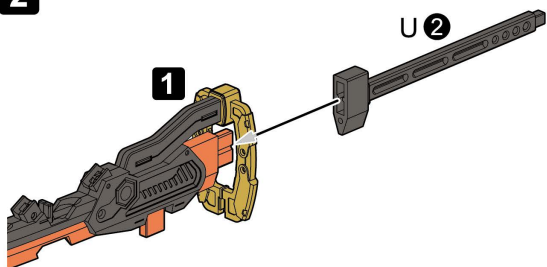
〈完成図〉



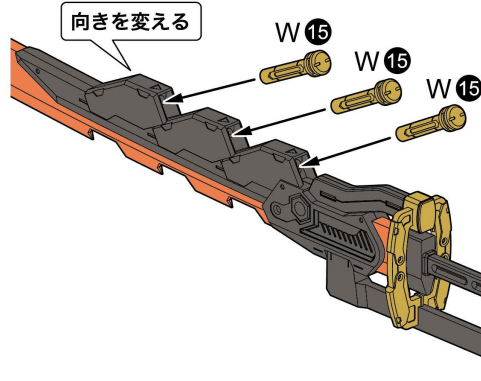
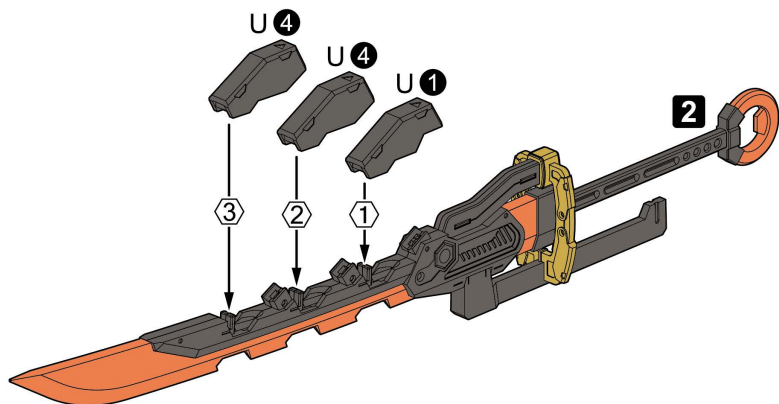
1



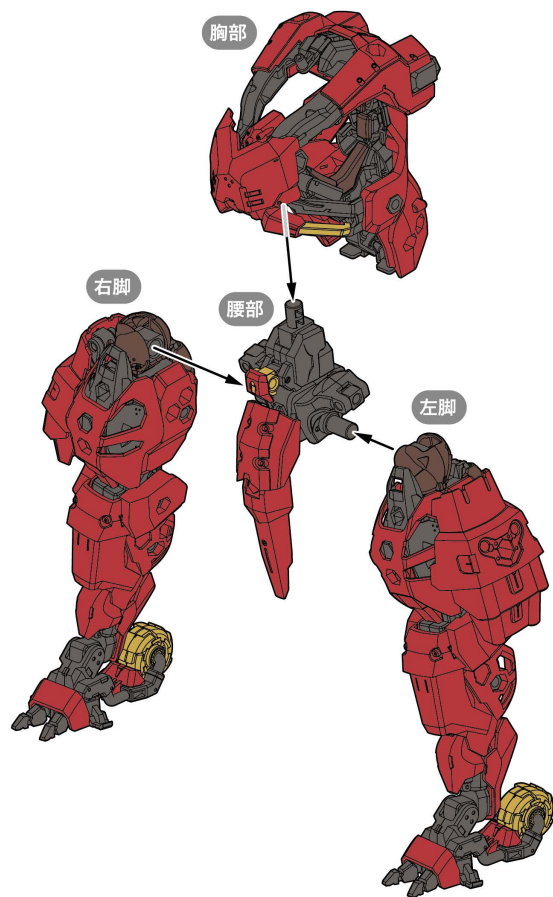
2



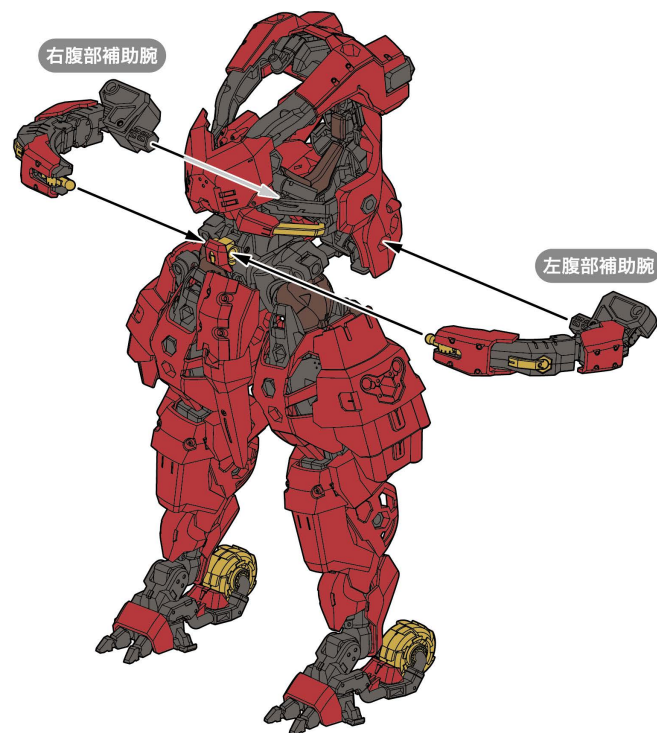
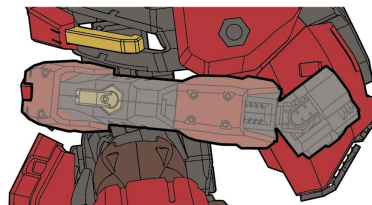
3



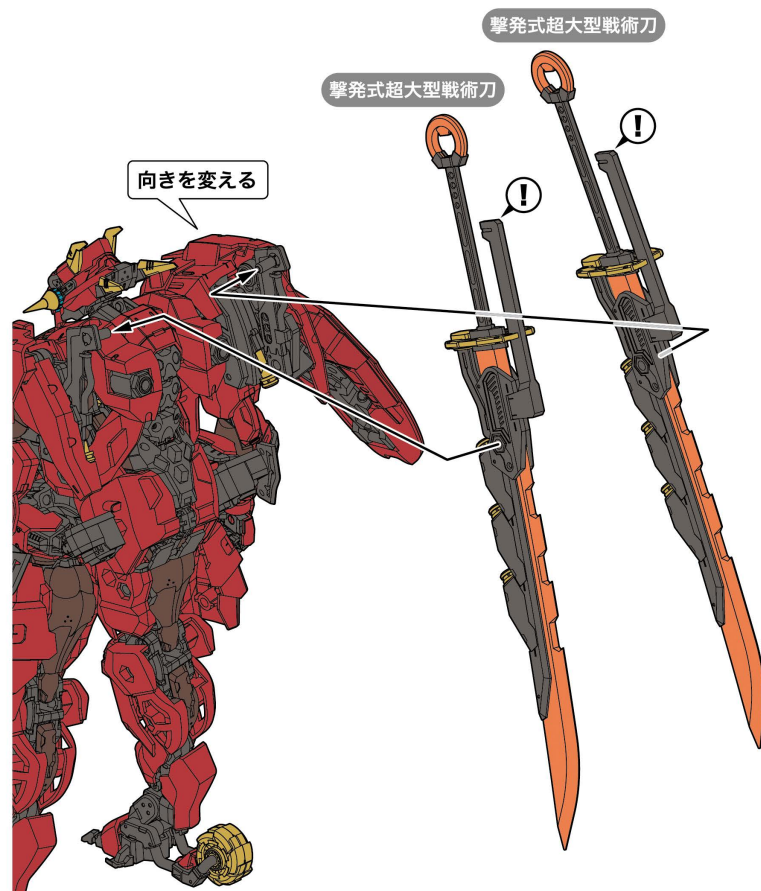
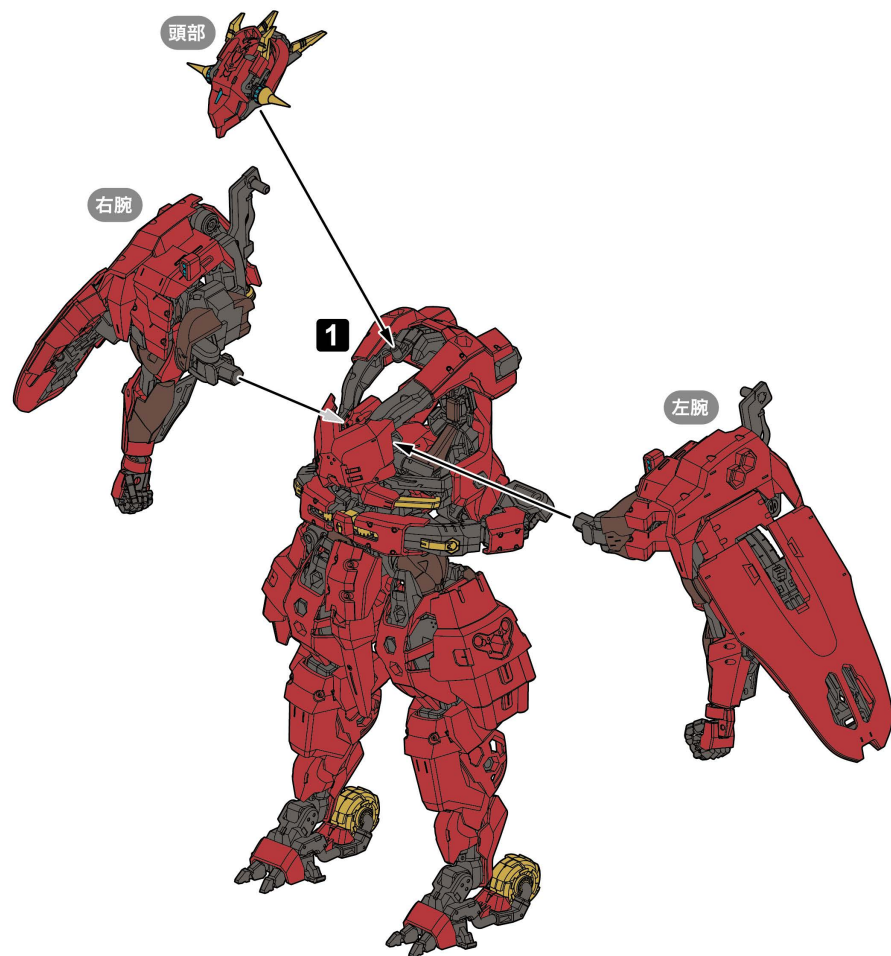
1



〈横から見た図〉

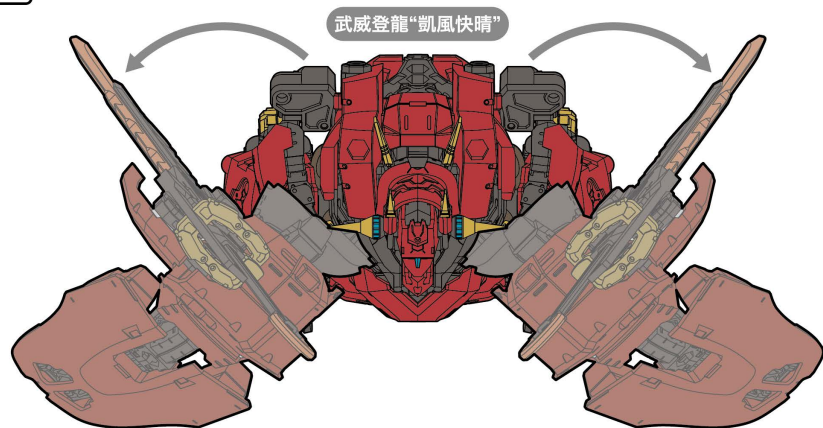


2

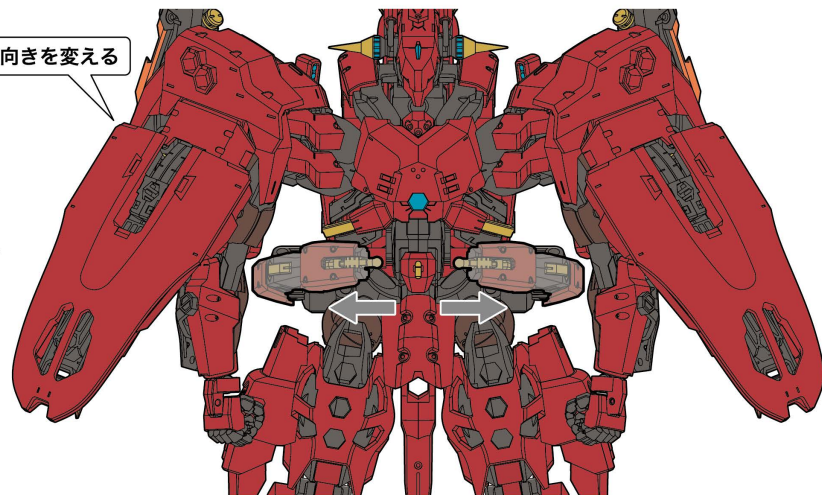


ギミック ガバナーシリーズの搭乗方法

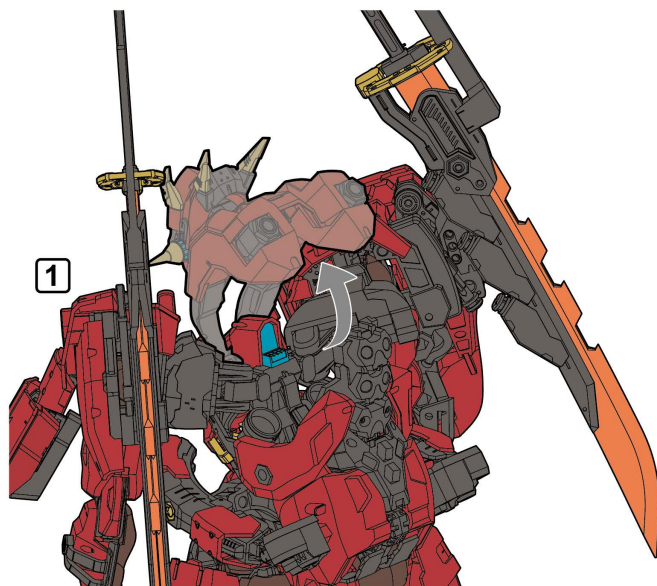
1



向きを変える

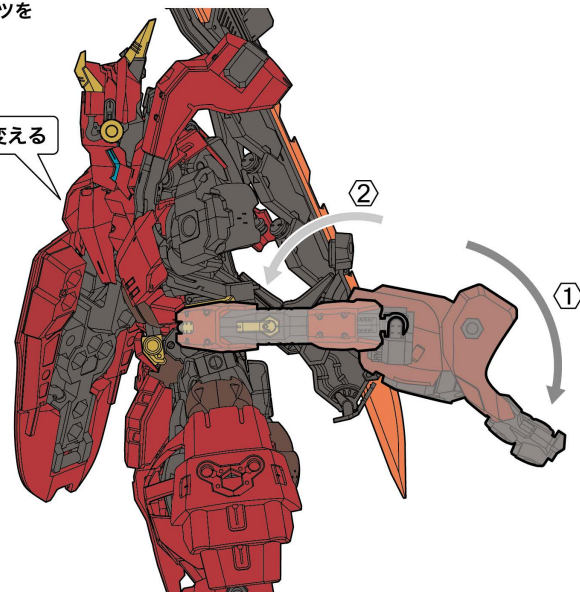


2



※説明のために一部パーツを省略しています。

向きを変える



3

※画像を参考にガバナーシリーズを搭乗させます。

※ガバナーを乗せた後は、①、②の手順を逆に行って胴体を閉じます。

※画像は塗装完成品を使用しています。

※ガバナー アーマータイプ:ポーンA1 Ver.1.5(別売り)を使用しています。

2

ガバナー アーマータイプ:
ポーンA1 Ver.1.5(別売り)

※反対側も同様に乗せます。



ペダルに脚を乗せる



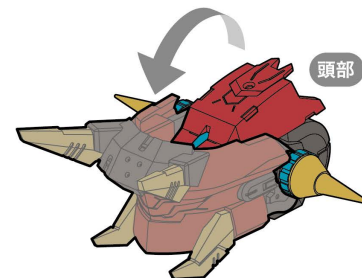
※反対側も同様に入れます。



ハンドパーツ部を入れる

鬼面の展開について

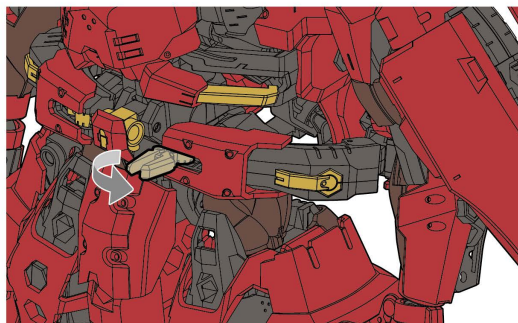
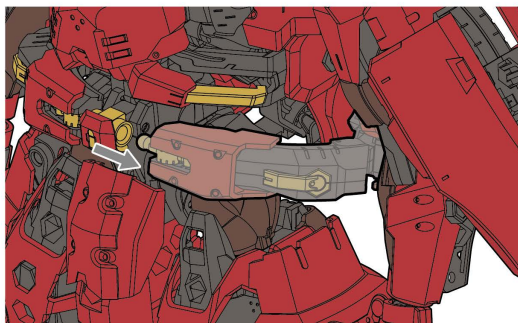
※頭部装飾を使用している場合、
あらかじめ取り外しておきます。



腹部補助腕について

※反対側も同様に動かすことができます。

武威登龍“凱風快晴”



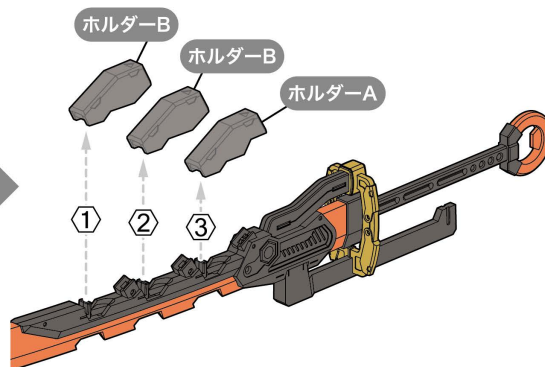
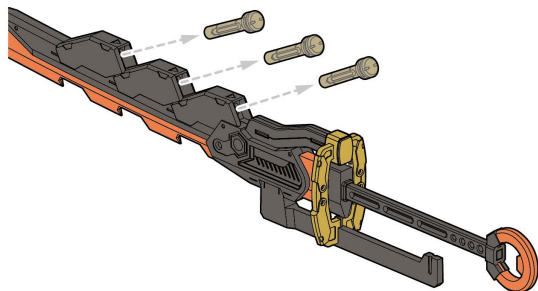
〈使用例〉 ※画像は塗装完成品を使用しています。



撃発式超大型戦術刀の発光について

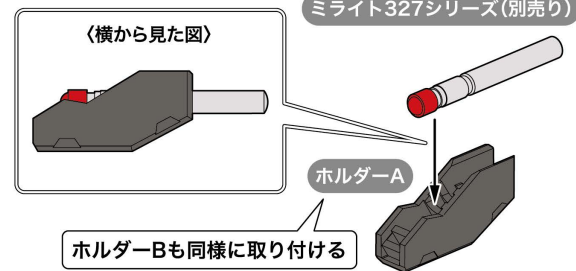
※撃発式超大型戦術刀は別売りの「ミライト327(LED付リチウム電池)シリーズ」を3本組み込むことで刀身が発光します。
※ミライト(LED付リチウム電池) 製造元: ヒロミ産業株式会社

撃発式超大型戦術刀



〈ホルダーへの取り付け方〉

※LEDは予め点灯させておきます。点灯の方法は別売りの「ミライト327シリーズ」に付属の取扱説明書をご確認ください。



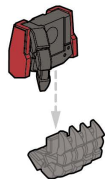
撃発式超大型戦術刀への取り付け方

ミライトを取り付けた後は逆の手順でホルダーを取り付けます。

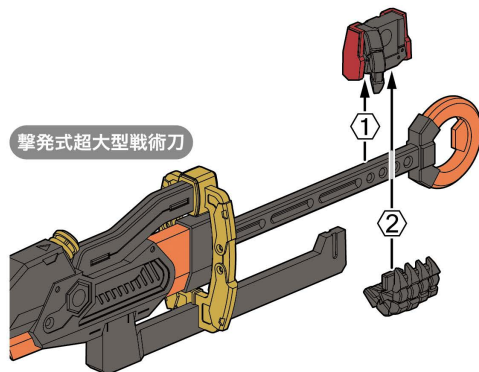
武器の持たせ方

※左右の各種武器持ち手を使用できます。
※持たせた後、使用中のハンドパーツと交換します。

武器持ち手①



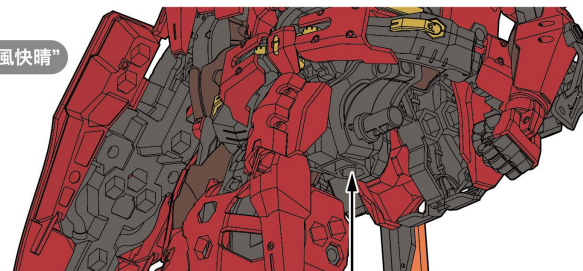
撃発式超大型戦術刀



展示ベースの取り付け方

※説明のために一部パーツを省略しています。

武威登龍“凱風快晴”



J 7

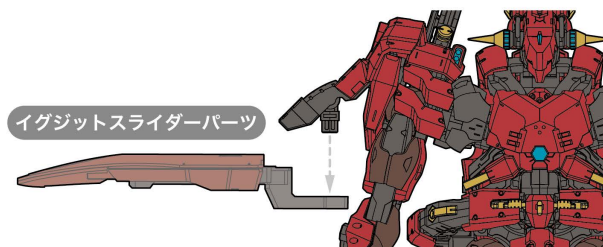
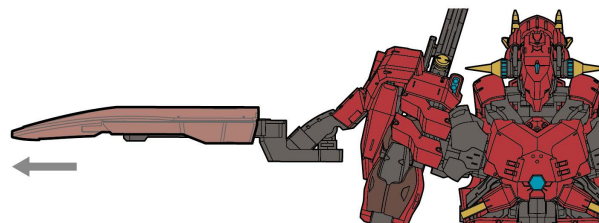
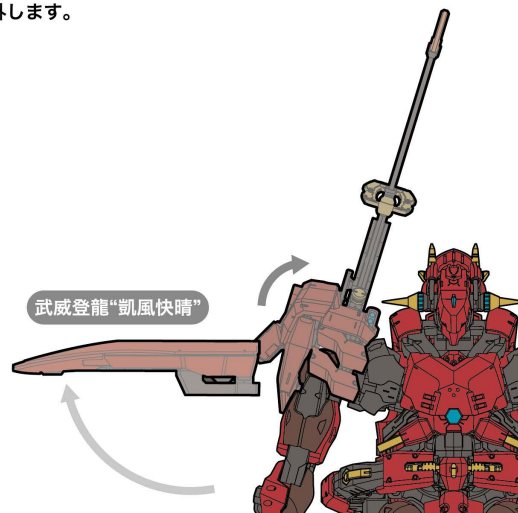
フライングベース・ネオ(別売り)



イグジットスライダーのギミック

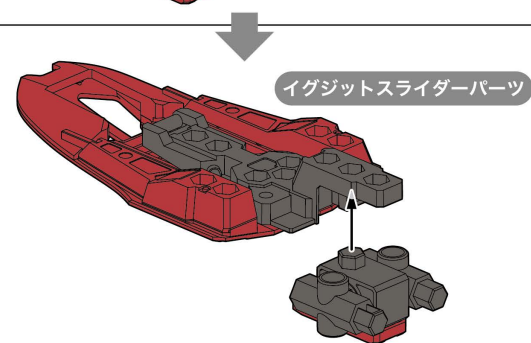
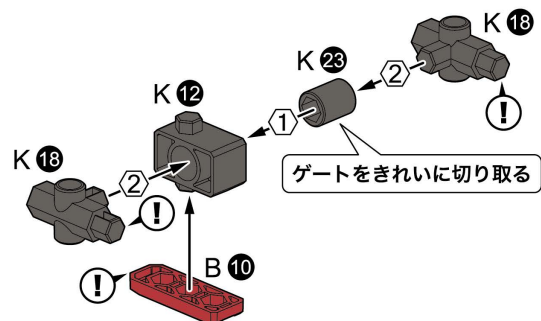
イグジットスライダーパーツの取り外し方

※反対側も同様に取り外します。

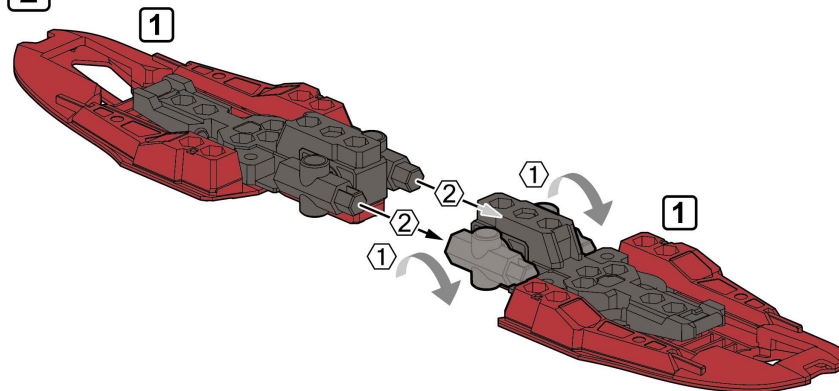


大型シールドの組み立て

1 X2

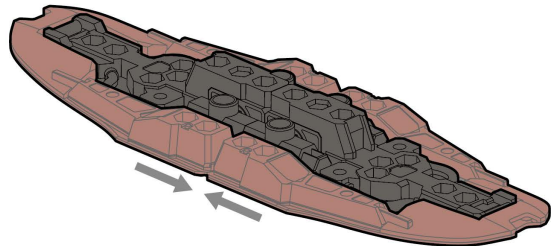


2

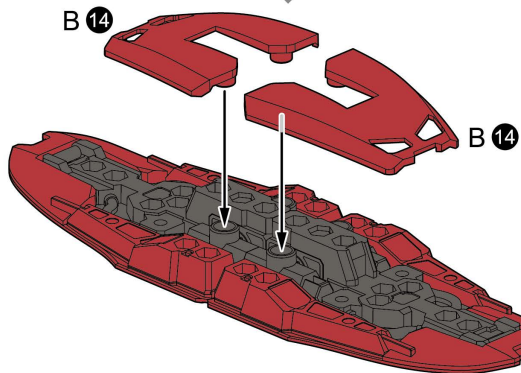


3

2

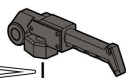


B 14



B 14

〈組み立てた図〉



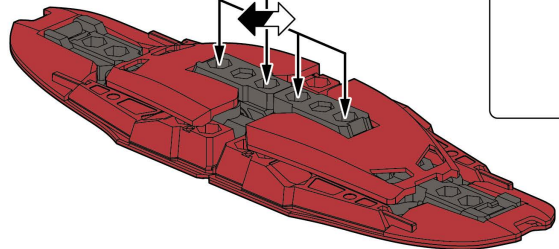
K 16 (ジョイントA)

奥まではめこむ

I 2

J 10

J 2



大型シールドの持たせ方

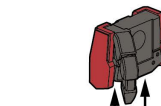
※左右の各種武器持ち手を使用できます。
 ※持たせた後、使用中のハンドパーツと交換します。

※表情指パーツを使用している場合は通常指パーツにあらかじめ変更しておきます。

武器持ち手① ※

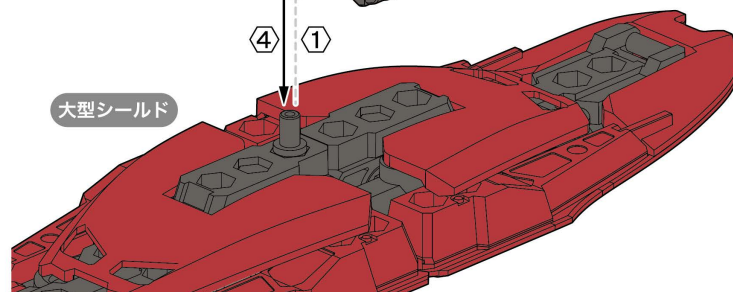


2 3

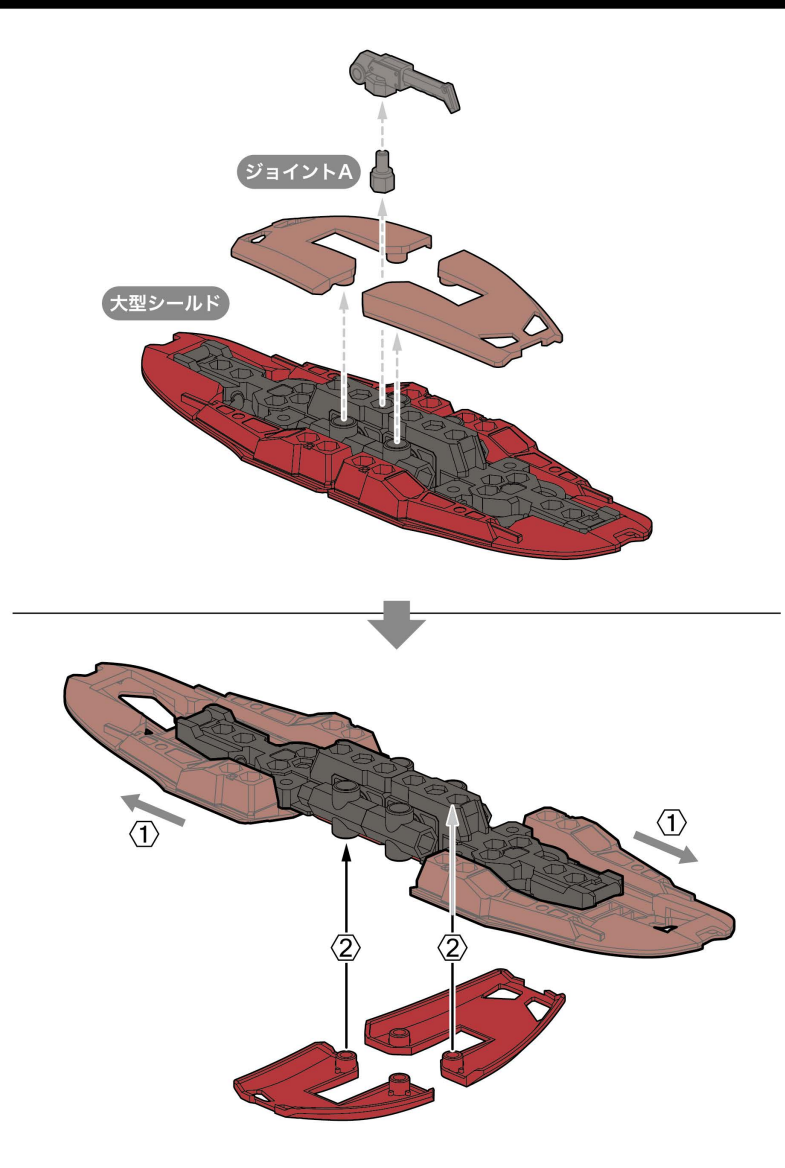


4 1

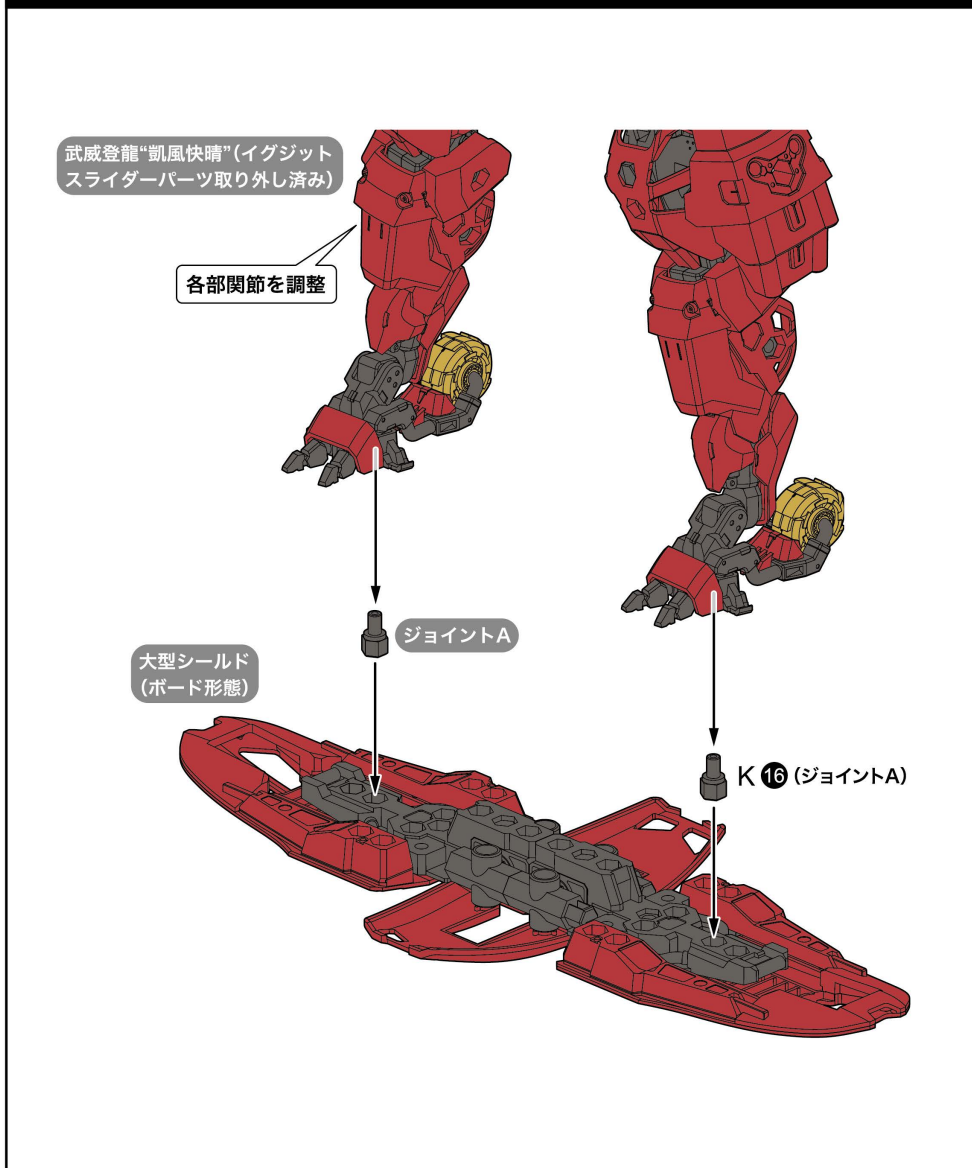
大型シールド



大型シールド(ボード形態)について



大型シールド(ボード形態)への武威登龍“凱風快晴”の取り付け例





BACK

FRONT

作例制作：糸山雄大(コトブキヤ企画)

ヘキサグラムを活用して自分だけのオリジナルヘキサギアを制作しよう！
ヘキサギアオフィシャルブログ「HEXA GEAR GOVERNORS GUIDE」にて作例記事を公開中。
ヘキサギアの世界観や商品情報はオフィシャルサイトをチェックしよう！

■ オフィシャルサイト

HEXA GEAR.COM



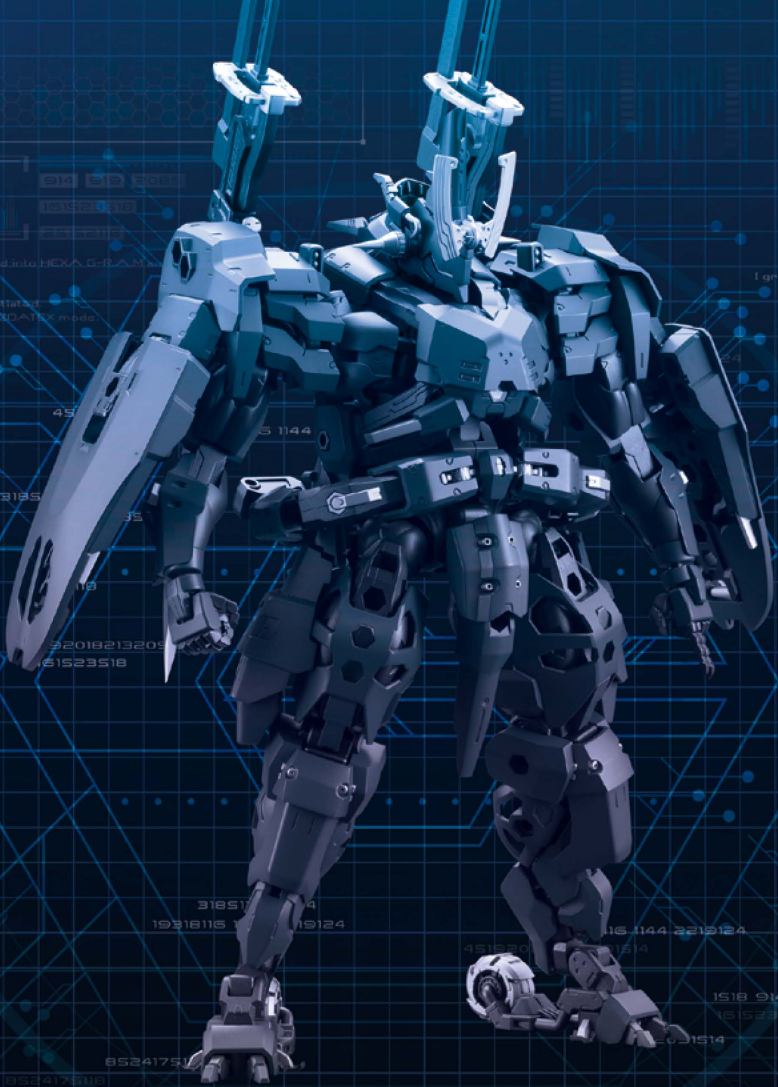
hexa-gear.com

■ オフィシャルブログ

HEXA GEAR GOVERNORS GUIDE



www.kotobukiya.co.jp/hexa-gear-gg



The HEXA GEAR main power unit is loaded into HEXA G-R.A.M.
Information transfer initiated.
Combat zone information acquired.
HEXA GEAR emergency configuration initiated.
Link released, drive system converted to 3D-A.I.T. mode.

Thank you for raising me.
I grew under your exceptional, blazma love.
Now, it is my turn to protect you.

HETERODOX

BUI TOHRU "GAIFU-KAISEI"
NO GENERATION CATEGORY APPLICABLE
ORGANIZATIONS IN POSSESSION OF THIS HEXA GEAR: "GAIFU-KAISEI" Mercenary Unit
DEVELOPER: "GAIFU-KAISEI" Mercenary Unit
CONTROL SYSTEM: KARMA
MAIN POWER UNIT: HEXA G-R.A.M
MAIN WEAPON UNITS: MEGINGJORD SYSTEM / SUPER-SIZED TACTICAL SWORD Cartridge Model /
EXIT SLIDER
SUB-WEAPON UNITS: GRAVITY CONTROLLER / IRON NAIL